農業競争力強化農地整備事業
（農地整備事業【中山間地域型】）

土　地　改　良　事　業　計　画　書

（　区　画　整　理　）

県　　名	岩　　手
地　区　名	平　野　原
所　在　地	遠　野　市
事業主体	岩　手　県

土　地　改　良　事　業　計　画　書

目　　次

第１章　目　　的 ---------- 1
第２章　地域及び地積 ---------- 2
　第１節　地域 ---------- 2
　第２節　地積 ---------- 2
第３章　現況 ---------- 3
　第１節　気象及び海象 ---------- 3
　　１．一般気象 ---------- 3
　　２．特殊気象 ---------- 4
　　３．海象 ---------- 4
　第２節　土地状況 ---------- 5
　　１．地形、土壌及び侵食の程度 ---------- 5
　　２．土地分類 ---------- 7
　　３．土地利用の状況 ---------- 8
　　４．土地所有の状況 ---------- 9
　第３節　水利状況 ---------- 10
　　１．用水状況 ---------- 10
　　２．排水状況 ---------- 16
　　３．河川状況 ---------- 20
　第４節　道路概況 ---------- 21
　　１．道路概況 ---------- 21
　　２．主要道路一覧表 ---------- 22
　第５節　地域農業の概況 ---------- 24
　　１．産業別就業人口 ---------- 24
　　２．経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況
　　並びに専兼業別農家数 ---------- 25
　　３．動力農機具及び主要家畜頭数 ---------- 26
　　４．主要作物作付状況 ---------- 27
　　５．農業の動向 ---------- 28
　第６節　地域環境の概況 ---------- 28
第４章　一般計画 ---------- 29
　第１節　事業計画の要旨 ---------- 29
　　１．要旨 ---------- 29
　　２．事業別面積 ---------- 29
　第２節　営農計画及び土地利用計画 ---------- 30
　　１．営農計画の概要 ---------- 30
　　２．土地利用区分 ---------- 30
　　３．作付方式 ---------- 31
　　４．生産計画 ---------- 32
　　５．労働改善計画 ---------- 33
　　６．級地別土地利用区分 ---------- 34
　　７．土地配分計画 ---------- 34
　第３節　用水計画 ---------- 35
　　１．計画基準年 ---------- 35
　　２．計画かんがい方式 ---------- 35
　　３．計画用水系統 ---------- 35
　　４．計画用水量 ---------- 37
　　５．水源計画 ---------- 39
　第４節　排水計画 ---------- 42
　　１．計画基準雨量 ---------- 42
　　２．計画排水方式 ---------- 42
　　３．計画排水系統 ---------- 42
　　４．計画排水量 ---------- 44
　　５．排水対策 ---------- 45
　　６．湛水検討 ---------- 46
　第５節　道路計画 ---------- 47
　　１．道路及び索道 ---------- 47
　　２．路線配置図 ---------- 47
　第６節　農用地造成計画 ---------- 49
　　１．農用地造成計画 ---------- 49
　　２．土壌改良 ---------- 49
　第７節　洪水調節計画 ---------- 50
　　１．計画基準雨量 ---------- 50
　　２．計画洪水量及び調節量 ---------- 50
　　３．貯水池 ---------- 50
　　４．洪水調節検討 ---------- 51
　　５．管理計画 ---------- 51

第８節　干拓計画 ---------- 51
第９節　農用地整備計画 ---------- 52
１．区画整理 ---------- 52
２．暗渠排水 ---------- 54
３．客土 ---------- 55
４．農地保全 ---------- 55
第１０節 老朽ため池改修計画 ---------- 56
１．洪水吐改修計画 ---------- 56
２．堤体補強計画 ---------- 56
３．取水施設改修計画 ---------- 56
第５章　主要工事計画 ---------- 57
第１節　用水施設 ---------- 57
１．貯水池 ---------- 57
２．頭首工 ---------- 58
３．揚水機 ---------- 58
４．用水路 ---------- 59
５．その他かんがい施設 ---------- 59
第２節　排水施設 ---------- 60
１．排水水門 ---------- 60
２．排水機 ---------- 60
３．排水路 ---------- 61
４．その他排水施設 ---------- 61
第３節　道路及び索道 ---------- 62
１．道路 ---------- 62
２．索道 ---------- 62
第４節　農用地造成 ---------- 63
１．農用地造成 ---------- 63
２．土壌改良 ---------- 64
第５節　洪水調節施設 ---------- 65
１．貯水池 ---------- 65
２．頭首工及び導水路 ---------- 65
第６節　干拓施設 ---------- 65
１．堤防 ---------- 65
２．潮止め ---------- 65
３．付属施設 ---------- 65
４．埋立 ---------- 65
第７節　農用地整備施設 ---------- 66
１．区画整理 ---------- 66
２．暗渠排水 ---------- 67
３．客土 ---------- 67
４．除礫 ---------- 67
５．農地保全 ---------- 68
第８節　老朽ため池改修施設 ---------- 69
１．貯水池 ---------- 69
２．堤体補強施設 ---------- 69
第６章　附帯工事計画 ---------- 70
第７章　工事の着手及び完了の予定時期 ---------- 70
第８章　環境との調和への配慮 ---------- 70
第９章　換地計画の概要 ---------- 71
第１節　換地計画を作成する上での基本的な考え方 71
第２節　換地区の設定 ---------- 71
１．換地区の名称、所在、面積 ---------- 71
２．換地区を設定する理由 ---------- 71
第３節　換地計画樹立の基本方針 ---------- 72
１．従前の土地の地積の基準 ---------- 72
２．用途別予定地積 ---------- 73
３．農用地集団化の方針 ---------- 74
４．非農用地換地の方法 ---------- 74
第４節　土地の評価及び清算の方法 ---------- 75
１．評価の方法 ---------- 75
２．清算の方法 ---------- 75
第５節　換地計画樹立の年度計画 ---------- 75
第６節　換地処分の時期の関する特則 ---------- 75
第１０章 事業費の総額及び内訳 ---------- 76
第１１章 効用 ---------- 76
第１２章 関連する事業 ---------- 77
第１３章 現況・計画図面 ---------- 78
１．位　置　図 ---------- 78
２．現況計画平面図 ---------- 78
３．土地利用計画図 ---------- 78
４．主要構造図 ---------- 78

第１章　　目　　的

本地区は、遠野市の中心部より南東へ約８kmに位置する水田地帯である。地区の南側を釜石自動車道、中心を国道340号、東側をJR釜石線が通っている。また、地区北側を一級河川早瀬川、地区内を準用河川赤羽根川が流れている未整備地区である。

営農形態は、水稲を基幹作物として飼料用作物の栽培にも取り組んでいる。

農地状況は、昭和26年に積雪寒冷地帯土地改良事業平野原地区で10a区画に一部整備されているものの、未整備な農地が多くあり不整形である。また、農道は狭小であることから大型機械導入の妨げとなっている。地区内の幹線用水路は所々装工されているが、多くは用排兼用の土水路であり、維持管理に多大な労力を費やしている。以上の要因により効率的な営農が不可能となっている。

これらを解決するため、本事業により高生産性ほ場を整備し、営農や維持管理等の省力化を図ると共に、当地域の担い手へ農地の集積・集約化を加速化し、豊かで競争力ある農業の実現に資するものである。

第２章　地 域 及 び 地 積

第１節　地　　域

（第１表）

事 業 名	地　　域
区　画　整　理	岩手県　遠野市上郷町平野原・平倉　地内

第２節　地　　積

（令和７年10月現在）（第２表）

事業名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原　野 (ha)	山　林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　　考
区　画　整　理	遠野市	36.0	2.0	0.1	－	3.0	41.1	
	計	36.0	2.0	0.1	－	3.0	41.1	
	計							
合　　計		36.0	2.0	0.1	－	3.0	41.1	

第３章　　現　　況

第１節　気象及び海象

１．一般気象

（岩手県農林水産部農村計画課　計画樹立参考資料　令和６年３月版）　　（第３表－１）

観測所名	遠野地域気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	H25～R4年	５月～　８月	９月～　４月		
平均気温（℃）		19.2	5.3	9.9	
降水量	平均(mm)	578.8	601.1	1,179.8	
	基準年(mm)	－	－	－	
降水日数	平均(日)	45	71	115	
	基準年(日)	－	－	－	
根雪期間		月　日　～　月　日　日間			
無霜期間		５月 11日　～　10月 11日　154日間			
最多風向		W	最大風速（風向）	15.8　m/s（　W　）	最多風向発生時期　－ 最大風速発生年月日　H30.10.7

※最大風速のデータは気象庁ホームページによる。

２．特殊気象

（岩手県農林水産部農村計画課　計画樹立参考資料　令和６年３月版）
（第３表－２）

観測所名 遠野地域気象観測所	第１位			第２位			第３位			第４位			第５位			備考
観測期間 M29年～R4年	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量 (mm)	185.0	M43.8.14	1/196	166.0	S18.8.23	1/87	162.0	H19.9.7	1/73	141.0	S54.10.19	1/29	141.0	S23.9.16	1/29	
最大時間雨量 (mm)	49.5	R3.7.21	1/78	48.0	H2.8.7	1/63	45.5	H29.7.18	1/44	44.0	S58.8.9	1/36	38.5	H25.8.9	1/17	
最大４時間雨量 (mm)	117.0	H11.7.14	1/398	97.0	H11.7.14	1/87	93.0	H11.7.14	1/64	80.0	S63.8.30	1/23	76.5	H25.7.26	1/18	
最大３日連続雨量 (mm)	272.0	M43.8.15	1/152	262.0	H11.7.14	1/119	246.0	S22.9.15	1/80	240.0	H10.8.31	1/69	235.0	H11.7.15	1/61	
最大連続旱天日数 (日)	41	S48.6.21	－	39	S3.7.18	－	35	S18.6.23	1/442	31	S32.6.5	1/68	30	S60.7.14	1/45	

３．海　　象　　該当なし

第２節　土地状況

１．地形、土壌及び侵食の程度

（第４表－１－１）

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高（m）		備考
	傾斜区分	1/1,000以下	1/1,000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°～8°	8°～15° 8°～10°	8°～15° 10°～15°	8°～15° 8°～15°	15°～20°	20°以上	計	最高	最低	
区画整理	面積(ha)		3.5	32.5			36.0	2.0							2.0	381.02	359.66	
	比率(%)		9.7	90.3			100.0	100.0							100.0			
	面積(ha)																	
	比率(%)																	
合計	面積(ha)		3.5	32.5			36.0	2.0							2.0			
	比率(%)		9.7	90.3			100.0	100.0							100.0			

〔土壌〕

（第４表－１－２）

項目 / 土壌統(区)名	土壌統（区）区分一覧表										面積(ha)			備考
	土壌断面								堆積様式	母材	事業名			
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性 表土 一層	土性 下層土 二層	土性 下層土 三層	泥炭層 黒泥層 及びグライ層			区画整理		計	
柳岡統 灰褐色土壌 壌土型 G62	YR(黒) YR(灰)	表層多腐植層	なし	あり	SL	SL	SL	なし なし あり	水積	非固結火成岩 非固結堆積岩	15.9		15.9	
野中統 礫質土壌壌土 マンガン（下部礫質）型 K95	YR(黒) YR(灰褐)	表層腐植層	あり (30～60㎝)	あり	L	L	SL	なし なし あり	水積	非固結火成岩 固結堆積岩	22.1		22.1	
計											38.0		38.0	

該当なし

（第４表－１－３）

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ浸食の程度		備考
		0	0～25%	25～50%	50%以上	0	3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積(ha)											
	比率(%)											

２．　土地分類

該当なし　　（第４表-2-1）

級地別 市町村名	農用地造成										計 (ha)	備考
	一級地 (ha)	二級地				三級地				四級地		
		※ (ha)	3°～8° (ha)	8°～ (ha)	12°～15° (ha)	※ (ha)	15°～20° (ha)	20°～25° (ha)	25°～30° (ha)	30°以上 (ha)		
計												

該当なし　　（第４表-2-2）

級地別 市町村名	干拓					備考
	一級地（ha）	二級地（ha）	三級地（ha）	四級地（ha）	計（ha）	
計						

３．土地利用の状況

（令和７年10月現在）（第４表－３）

事業名	土地利用別 ＼ 市町村名	耕地						山林		採草放牧地	原野	その他	計	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	樹園地その他の (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理	遠野市	36.0	2.0								0.1	3.0	41.1	
合計		36.0	2.0								0.1	3.0	41.1	

４．土地所有の状況

（令和7年10月現在）　（第４表－４）

事業名	所有別 区　分	個人有	市有	県有	国有	土地改良区有		計	備　　考
区画整理	面　　積(ha)	38.2	2.8	－	0.1	－	－	41.1	
	受益者数(人)	49						49	
	筆　　数(筆)	467	125	－	5	－		597	
	権 利 関 係								
	備　　考 (関係戸数)	(52)						(52)	
	面　　積(ha)								
	受益者数(人)								
	筆　　数(筆)								
	権 利 関 係								
	備　　考 (関係戸数)								
合計	面　　積(ha)	38.2	2.8	－	0.1	－		41.1	
	受益者数(人)	49						49	
	筆　　数(筆)	467	125	－	5	－		597	
	権 利 関 係								
	備　　考 (関係戸数)	(52)						(52)	

第３節　水利状況

１．用水状況

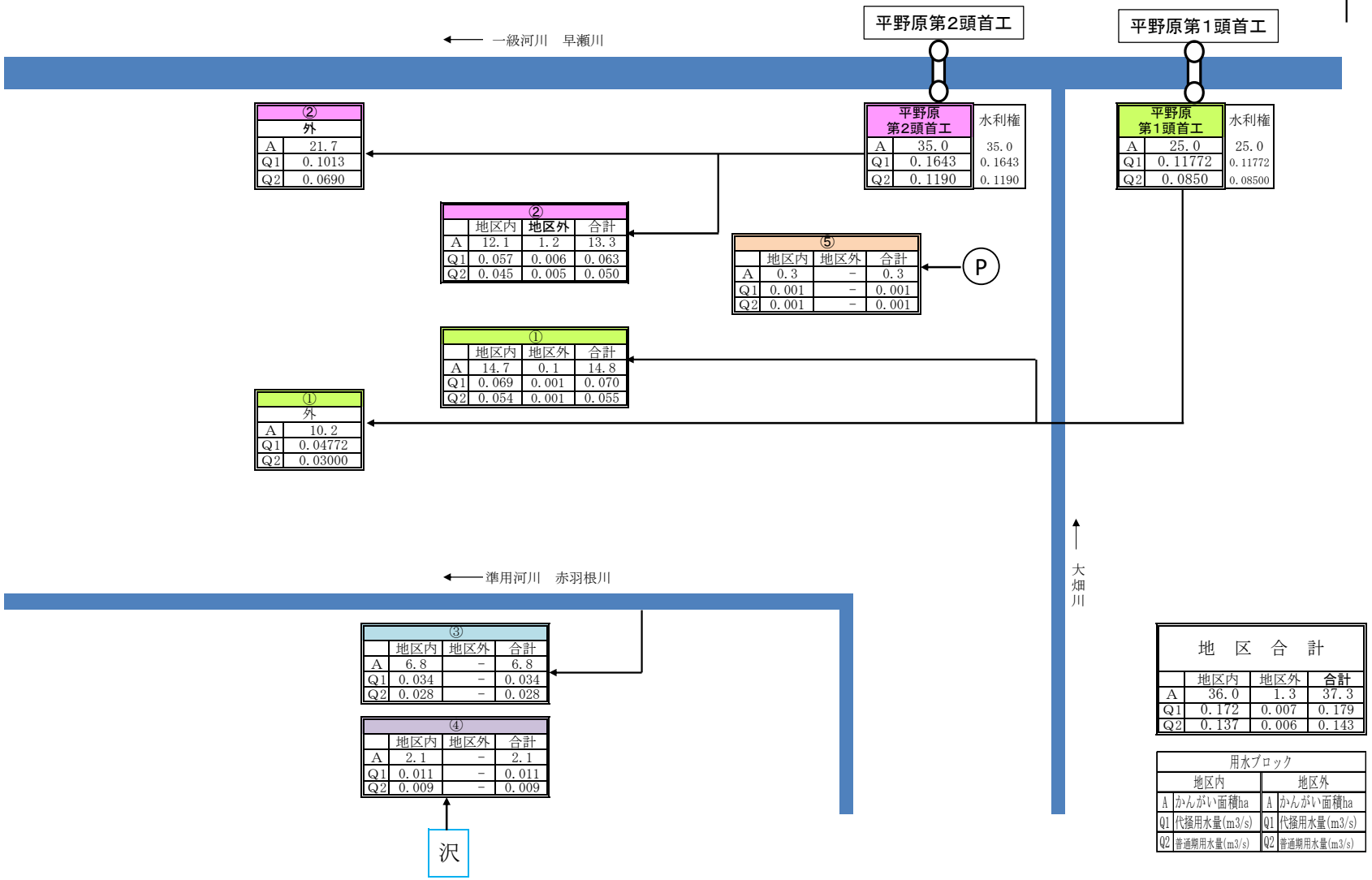
本地区の用水は、一級河川早瀬川に設置された平野原第1頭首工及び平野原第2頭首工で取水する系統の他に準用河川赤羽根川や沢水から取水する系統からなっており、地区内を通る小用水路から各水田へかんがいしている。

地区内の小用水路は、維持管理等で一部装工されているが、ほとんどは土水路で断面も一定ではなく、用排兼用となっている。そのため、土壌浸透による損失や崩落による断面阻害も生じており、水管理及び維持管理等に多大な労力と経費を費やしている。

（１）用水系統

次頁参照

平野原地区　現況用水系統図



地区合計	地区内	地区外	合計
A	36.0	1.3	37.3
Q1	0.172	0.007	0.179
Q2	0.137	0.006	0.143

用水ブロック			
地区内		地区外	
A	かんがい面積ha	A	かんがい面積ha
Q1	代掻用水量(m3/s)	Q1	代掻用水量(m3/s)
Q2	普通期用水量(m3/s)	Q2	普通期用水量(m3/s)

（２）　用水施設

（ア）　取水方法一覧表

（第５表－１）

事業名	項目 / 施設名	かんがい面積 500ha以上		かんがい面積 500～100ha		かんがい面積 100ha未満		計		水利権		慣行水利権		延取水量	備考
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m^3/s	箇所	m^3/s	m^3/s	
区画整理	貯水池	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
	井堰	－	－	－	－	2	26.8	2	26.8	2	0.282			0.126	平野原第１頭首工 平野原第２頭首工
	自然取水口	－	－	－	－	2	8.9	2	8.9	－	－			0.045	
	揚水機	－	－	－	－	1	0.3	1	0.3	－	－			0.001	
	揚水機（反復）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
	計	－	－	－	－	5	36.0	5	36.0	2	0.282	－	－	0.172	
合計		－	－	－	－	5	36.0	5	36.0	2	0.282	－	－	0.172	

（イ）改修を要する施設一覧表

（第５表－２）

事業名	項目 施設名	施設名又は箇所数	受益面積(ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
区画整理	貯水池	－				－		
	井堰	－				－		
	自然取水口	2	(8.9)			－	区画整理	取水口改修
	揚水機	－				－		
	用水路	全体	36.0	土水路	L=5.0km	－	区画整理	
	その他							
	計		36.0					
合計			36.0					

（3）　用水に関する被害状況

（ア）　用水不足による被害状況　　該当なし

（第５表-3-1）

事業名	項目／系統名	かんがい面積 (ha)	現況必要水量 (千m³)	不足水量				平均減産量 (t)	平均維持管理費 (千円)	備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量				
				平均(m³/s)	基準年(m³/s)	平均(m³/s)	基準年(m³/s)			
	計									
合計										

（イ）その他の被害状況　　該当なし

（第５表-3-2）

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温(℃)		被害量 (t)	備考
			最高	最低		

（４）　ため池決壊の場合の想定被害状

該当なし

（第５表-3-3）

事　業　名	想定被害面積(ha)				想定被害額（千円）						人命（人）	備　考
	水田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計		
計												
合　計												

２．排水状況

本地区の排水は、地区内の小排水路を経由し、一級河川早瀬川、準用河川赤羽根川へ排水される。

地区内の小排水路は、土水路で用排兼用となっており、水路底が浅く、表面水のみが排水可能な状況であるため、水田の汎用化が行えない状況となっている。また、法面の崩落等による通水障害も生じており、維持管理に多大な労力と経費を費やしている。

(1) 排水系統

次頁参照

平　野　原　地　区　現　況　排　水　系　統　図

← 一級河川　早瀬川

早瀬川左岸①	地区内	地区外
CA	0.106	0.054
A	9.1	-
Q1/10	0.236	0.149
Q1/2	0.151	0.095
Q常時	0.027	0.015

早瀬川左岸②	地区内	地区外
CA	0.007	0.214
A	0.7	-
Q1/10	0.014	0.781
Q1/2	0.009	0.451
Q常時	0.002	0.054

赤羽根川右岸①	地区内	地区外
CA	0.055	0.010
A	5.2	-
Q1/10	0.120	0.020
Q1/2	0.078	0.013
Q常時	0.014	0.003

赤羽根川右岸②	地区内	地区外
CA	0.010	-
A	0.8	-
Q1/10	0.023	-
Q1/2	0.015	-
Q常時	0.003	-

赤羽根川右岸③	地区内	地区外
CA	0.015	0.006
A	1.4	-
Q1/10	0.032	0.018
Q1/2	0.020	0.011
Q常時	0.004	0.002

赤羽根川右岸④	地区内	地区外
CA	0.039	0.044
A	3.8	-
Q1/10	0.082	0.117
Q1/2	0.053	0.076
Q常時	0.010	0.011

赤羽根川右岸⑤	地区内	地区外
CA	0.001	0.029
A	0.1	-
Q1/10	0.002	0.069
Q1/2	0.001	0.044
Q常時	-	0.007

赤羽根川右岸⑥	地区内	地区外
CA	0.074	0.051
A	7.1	-
Q1/10	0.159	0.131
Q1/2	0.103	0.085
Q常時	0.019	0.015

赤羽根川右岸⑦	地区内	地区外
CA	0.002	0.001
A	0.2	-
Q1/10	0.004	0.001
Q1/2	0.003	0.001
Q常時	0.001	-

← 準用河川　赤羽根川

赤羽根川左岸①	地区内	地区外
CA	0.005	-
A	0.5	-
Q1/10	0.011	-
Q1/2	0.007	-
Q常時	0.001	-

赤羽根川左岸②	地区内	地区外
CA	0.051	0.064
A	4.9	-
Q1/10	0.111	0.245
Q1/2	0.072	0.140
Q常時	0.013	0.016

赤羽根川左岸③	地区内	地区外
CA	0.018	0.567
A	1.6	-
Q1/10	0.040	1.806
Q1/2	0.026	1.021
Q常時	0.005	0.142

赤羽根川左岸④	地区内	地区外
CA	0.022	0.044
A	2.1	-
Q1/10	0.047	0.191
Q1/2	0.030	0.110
Q常時	0.006	0.011

赤羽根川左岸⑤	地区内	地区外
CA	0.006	0.045
A	0.5	-
Q1/10	0.014	0.189
Q1/2	0.009	0.108
Q常時	0.002	0.011

早瀬川左岸計	地区内	地区外
CA	0.113	0.268
A	9.8	-
Q1/10	0.250	0.930
Q1/2	0.160	0.546
Q常時	0.029	0.069

赤羽根川右岸計	地区内	地区外
CA	0.196	0.141
A	18.6	-
Q1/10	0.422	0.356
Q1/2	0.273	0.230
Q常時	0.051	0.038

赤羽根川左岸計	地区内	地区外
CA	0.102	0.720
A	9.6	-
Q1/10	0.223	2.431
Q1/2	0.144	1.379
Q常時	0.027	0.180

平野原地区	地区内	地区外	合計
CA	0.411	1.129	1.540
A	38.0	-	38.0
Q1/10	0.895	3.717	4.612
Q1/2	0.577	2.155	2.732
Q常時	0.107	0.287	0.394

流域番号	
CA	流域面積（km2）
A	受益面積（ha）
Q1/10	10年確率排水量（m3/s）
Q1/2	2年確率排水量（m3/s）
常時	常時排水量（m3/s）

(2) 排水施設

（ア）排水方法一覧表

（第５表－４）

事業名	項目 / 施設名		排水面積 500ha以上 箇所	500ha以上 ha	500～100ha 箇所	500～100ha ha	100ha未満 箇所	100ha未満 ha	計 箇所	計 ha	排水慣行 (m^3/s)	現況排水能力 (m^3/s)	備考
区画整理	自然	排水路					14	154.0	14	154.0		4.612	
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計						14	154.0	14	154.0		4.612	
合計							14	154.0	14	154.0		4.612	

※箇所は、排水系統の系統数を示す。

（イ）改修を要する施設一覧表

（第５表－５）

事業名	項目 / 施設名		施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
区画整理	自然	排水路	全体	38.0	土水路	L=5.0km	S26	区画整理	
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計			38.0					
合計				38.0					

（３）　排水に関する被害状況

該当なし

（第5表-6）

事業名	項目／系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況 湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m³)	乾湿状況（ha） 田 乾	田 湿	畑 乾	畑 湿	その他 乾	その他 湿	平均減産量 (t)	平均維持管理費 (千円)	備考
			平　均														
			基準年														
			平　均														
			基準年														
			平　均														
			基準年														
			平　均														
			基準年														
	計		平　均														
			基準年														
合　計			平　均														

3．河 川 状 況

（1） 河川の現況

該当なし

（第５表-7）

項目 河川名	流路状況	勾　　配	断　　面	安全洪水量 (m³/s)	既往最大洪水量 (m³/s)	備　　考

（2）洪水に関する被害状況

該当なし

（第５表-8）

項目 区分	農　用　地 （千円）	農　用　施　設 （千円）	作　　物 （千円）	公　共　施　設 （千円）	備　　考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第４節　道路概況

１．道路概況

地区内を通る国道340号とその他市道上川原下川原線が基幹道路として位置づけられる。さらにそれらに接続するその他市道寺田平野原線、その他市道石仏赤羽根線、その他市道神明御料地山線をはじめとする地区内のその他市道が地区の生活道路となっている。

ほ場内にある耕作道は、砂利道及び土砂道であり、幅員もほとんどが2.0～3.0ｍと狭く、大型農業機械の通行や農作物の円滑な搬出に支障をきたしている状況である

5）道路密度

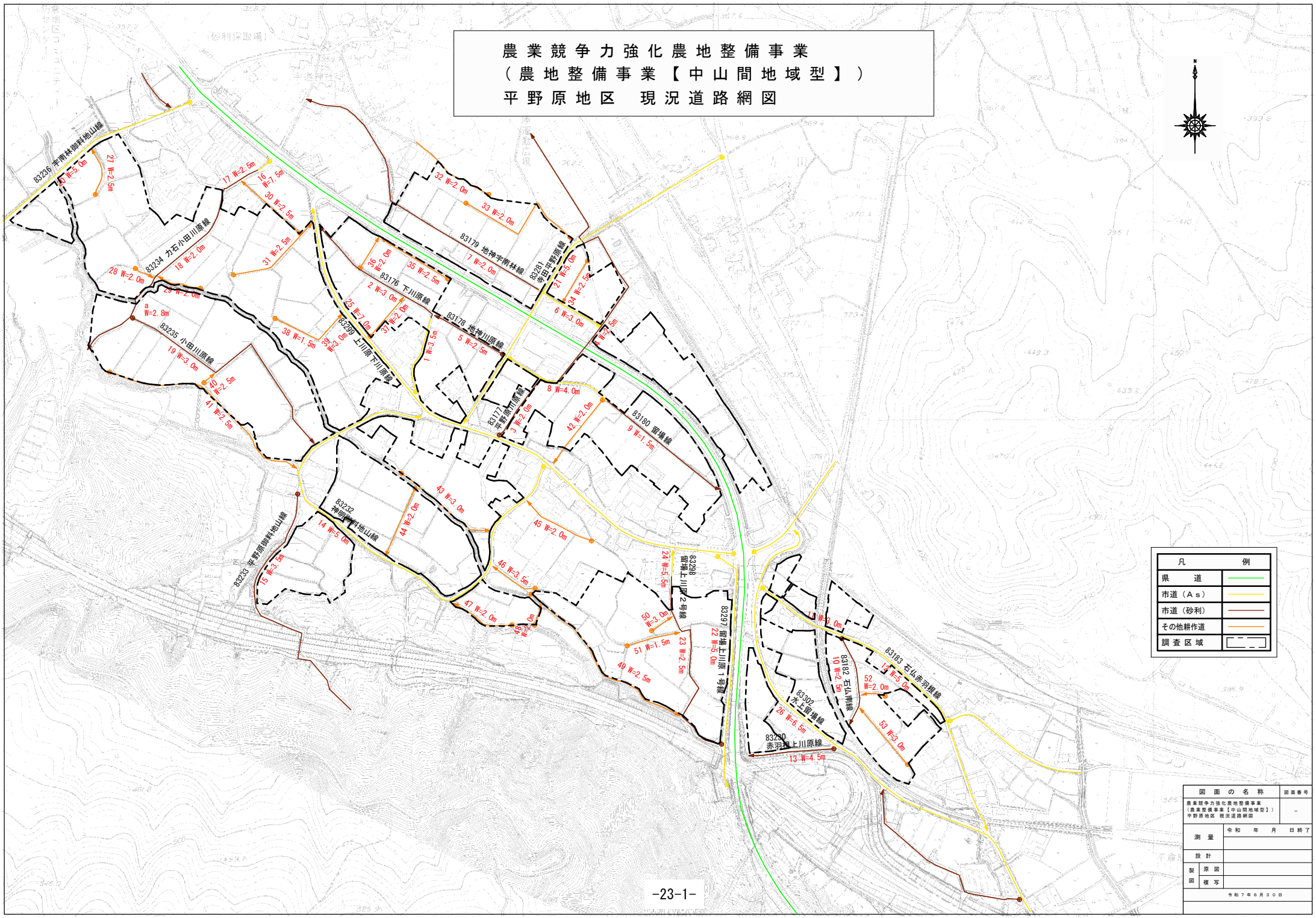
2）主要道路一覧表

No.	路　線　名	管理区分別	延長(m)	構　造	幅　員(m)		改修の要否	備　考 (道路番号)
					全　幅	有　効		
1	下川原線	その他市道	122	ｱｽﾌｧﾙﾄ	3.5	2.5	否	83176
2	〃	〃	230	砂利	3.0		要	83176
3	平野原川原線	〃	194	砂利	2.0		要	83177
4	〃	〃	106	砂利	2.5		要	83177
5	地神川原線	〃	121	土砂	2.5		要	83178
6	地神宇南林線	〃	108	ｱｽﾌｧﾙﾄ	3.0	2.5	否	83179
7	〃	〃	257	土砂	2.0		要	83179
8	留場線	〃	141	ｱｽﾌｧﾙﾄ	4.0	3.0	否	83180
9	〃	〃	223	土砂	1.5		要	83180
10	石仏南線	〃	142	土砂	2.5		要	83182
11	石仏赤羽根線	〃	145	ｱｽﾌｧﾙﾄ	3.0	2.5	否	83183
12	〃	〃	215	ｱｽﾌｧﾙﾄ	5.0	4.0	否	83183
13	赤羽根上川原線	〃	132	砂利	4.5		否	83230
14	神明御料地山線	〃	816	ｱｽﾌｧﾙﾄ	5.0	4.0	否	83232
15	平野原御料地山線	〃	196	砂利	3.5		否	83233
16	力石小田川原線	〃	23	ｱｽﾌｧﾙﾄ	7.5	6.0	否	83234
17	〃	〃	62	砂利	2.5		否	83234
18	〃	〃	340	土砂	2.0		要	83234
19	小田川原線	〃	410	砂利	3.0		要	83235
20	宇南林御料地山線	〃	219	ｱｽﾌｧﾙﾄ	5.0	4.0	否	83236
21	寺田平野原線	〃	339	ｱｽﾌｧﾙﾄ	5.0	4.0	否	83281
22	留場上川原1号線	〃	308	ｱｽﾌｧﾙﾄ	5.0	4.0	否	83297
23	留場上川原2号線	〃	276	砂利	2.5		要	83298
24	〃	〃	40	ｱｽﾌｧﾙﾄ	5.5	4.5	否	83298

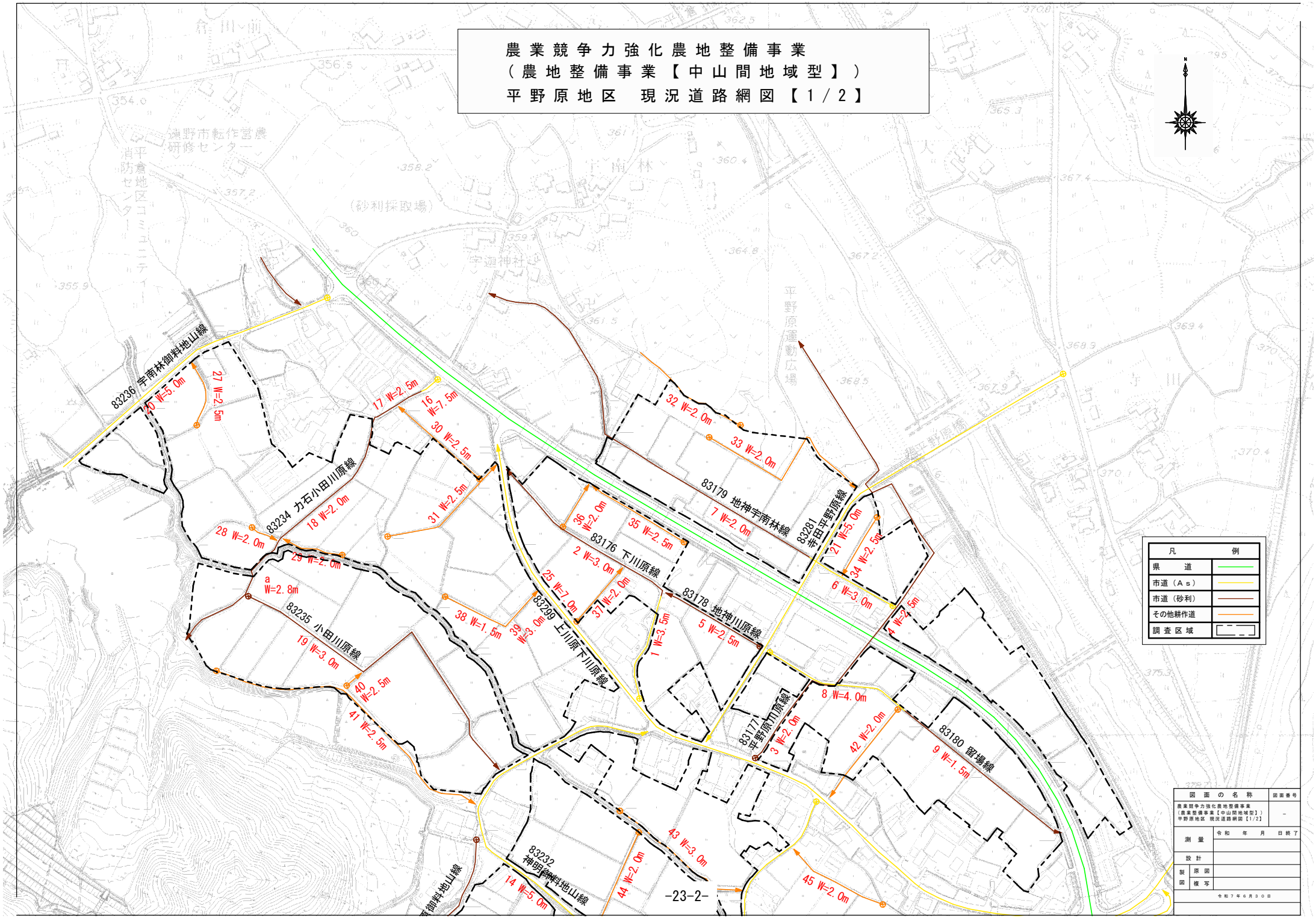
No.	路　線　名	管理区分別	延長(m)	構　造	幅　員(m)		改修の要否	備　考 (道路番号)
					全　幅	有　効		
25	上川原下川原線	その他市道	909	ｱｽﾌｧﾙﾄ	7.0	5.5	否	83299
26	水上留場線	〃	490	ｱｽﾌｧﾙﾄ	6.5	5.5	否	83302
27	農道	農道	77	土砂	2.5		要	
28	〃	〃	32	土砂	2.0		要	
29	〃	〃	70	土砂	2.0		要	
30	〃	〃	122	土砂	2.5		要	
31	〃	〃	153	土砂	2.5		要	
32	〃	〃	120	土砂	2.0		要	
33	〃	〃	232	土砂	2.0		要	
34	〃	〃	77	土砂	2.5		要	
35	〃	〃	121	土砂	2.5		要	
36	〃	〃	56	土砂	2.0		要	
37	〃	〃	79	土砂	2.0		要	
38	〃	〃	75	土砂	1.5		要	
39	〃	〃	54	砂利	3.0		要	
40	〃	〃	22	砂利	2.5		要	
41	〃	〃	350	土砂	2.5		要	
42	〃	〃	124	土砂	2.0		要	
43	〃	〃	170	砂利	3.0		要	
44	〃	〃	114	砂利	2.0		要	
45	〃	〃	119	砂利	2.0		要	

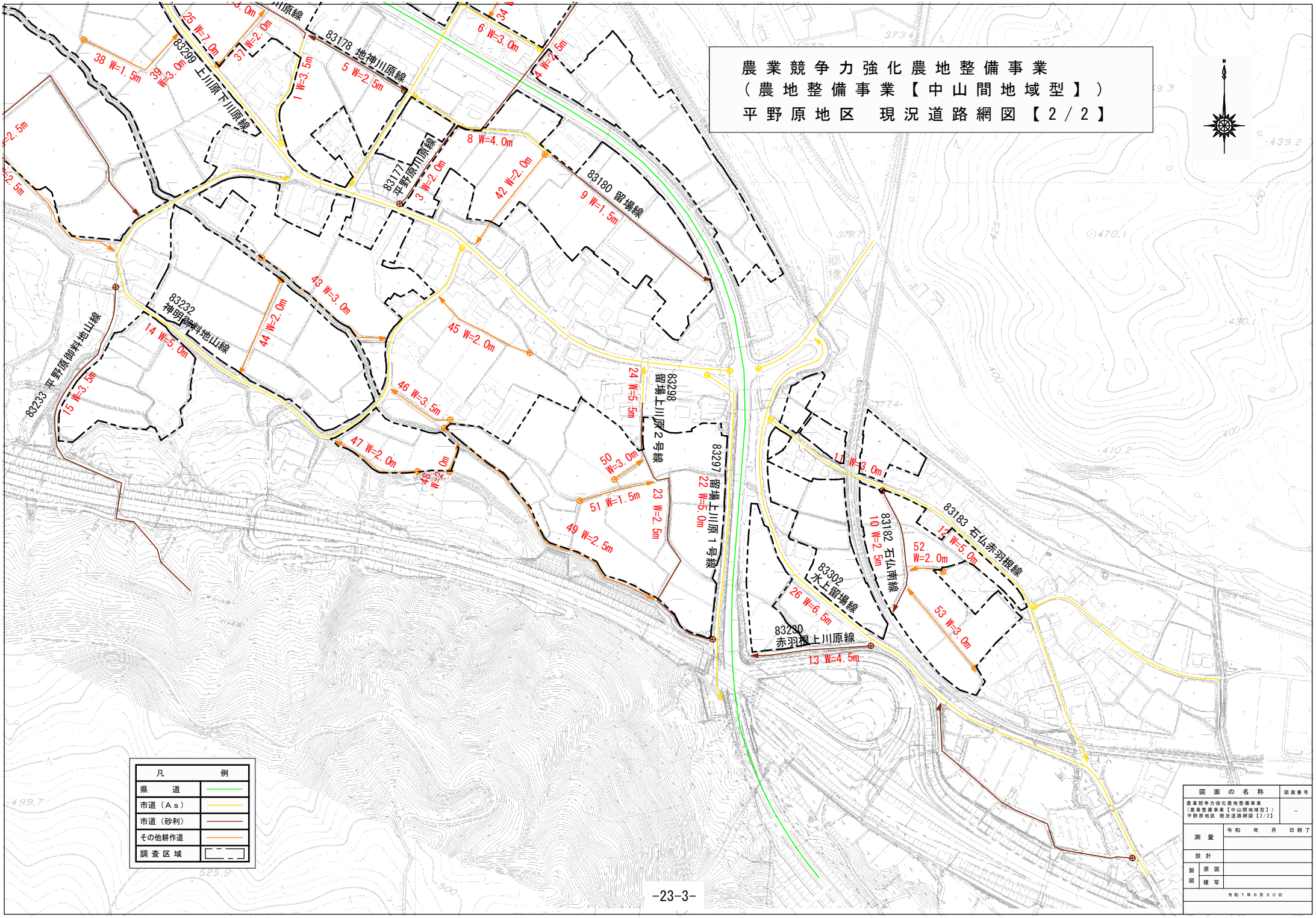
No.	路　線　名	管理区分別	延長(m)	構　造	幅　員(m)		改修の要否	備　考 (道路番号)
					全　幅	有　効		
46	農道	農道	76	砂利	3.5		要	
47	〃	〃	101	土砂	2.0		要	
48	〃	〃	34	土砂	2.0		要	
49	〃	〃	309	土砂	2.5		要	
50	〃	〃	38	土砂	3.0		要	
51	〃	〃	84	土砂	1.5		要	
52	〃	〃	37	土砂	2.0		要	
53	〃	〃	114	土砂	3.0		要	
54	340号	一般国道	1515	ｱｽﾌｧﾙﾄ	－	－	否	283号と重用区間 2車線道路
	計		11,039					
	(うち改修路線)		5,259					

農業競争力強化農地整備事業
（農地整備事業【中山間地域型】）
平野原地区　現況道路網図



農業競争力強化農地整備事業
（農地整備事業【中山間地域型】）
平野原地区　現況道路網図【1／2】




農業競争力強化農地整備事業
（農地整備事業【中山間地域型】）
平野原地区　現況道路網図【2／2】
83178 地神川原線
83299 上川原下川原線
83177 平野原川原線
83180 留場線
83232 神明神料地山線
83233 平野原御料地山線
83298 留場上川原2号線
83297 留場上川原1号線
83183 石仙赤羽根線
83182 石仙南線
83302 水上留場線
83280 赤羽根上川原線
凡　例
県　道
市道（Ａｓ）
市道（砂利）
その他耕作道
調査区域
図面の名称
農業競争力強化農地整備事業
（農業整備事業【中山間地域型】）
平野原地区　現況道路網図【2/2】
図面番号
測量
設計
製図
原図
複写
令和７年６月３０日

第５節　地域農業の概況

１．産業別就業人口

(R2国勢調査)　　（第７表－１）

項目 / 市町村名	総数（人）	農業（人）	林業（人）	漁業（人）	鉱業（人）	建設業（人）	製造業（人）	電気ガス熱供給水道業（人）	運輸通信業（人）	卸売小売業飲食店（人）	金融保険業（人）	不動産業（人）	サービス業（人）	公務（人）	その他（人）	備考
遠野市	13,098	2,001	171	6	24	1,652	2,493	43	485	1,507	160	69	1,904	462	2,121	
計	13,098	2,001	171	6	24	1,652	2,493	43	485	1,507	160	69	1,904	462	2,121	
比率（%）	100%	15%	1%	0%	0%	13%	19%	0%	4%	12%	1%	1%	14%	4%	16%	

２．経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

（2020農林業センサス）　　（第７表－２）

区分 / 市町村名	農家総戸数（戸）	経営耕地広狭別農家数（戸）											一戸当たり平均農用地面積（ha）						耕地の分散状況		専兼業別農家数（戸）			備考
		経営耕地なし	～0.3	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0 ha以上	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	その他	計	一戸当たり団地数	団地当たり面積（ha）	専業	兼業 第一種	兼業 第二種	
遠野市	2,318											856	1.09	0.67	0.01	1.77	－	1.77	－	－	－	－	－	
計	2,318	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	856	1.09	0.67	0.01	1.77	－	1.77	－	－	－	－	－	
比率	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	37%	61%	38%	1%	100%	－	100%	－	－	－	－	－	

３．動力農機具及び主要家畜頭数

（2020農林業センサス）　　（第７表－３）

項目 ＼ 市町村名	動力農機具								主要家畜						備考
	耕うん機及びﾄﾗｸﾀｰ		動力防除機		動力田植機		コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		
	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（台）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	数量（頭）	戸数（戸）	
遠野市	－	－	－	－	－	－	－	－	1,043	44	6,672	347	10,301	3	
計	－	－	－	－	－	－	－	－	1,043	44	6,672	347	10,301	3	
100戸当たり数量（台、頭）	－		－		－		－		45		288		444		農家戸数 2,318戸
利用戸数割合（%）	－		－		－		－		2%		15%		0%		

４．主要作物作付状況

（2020農林業センサス）　　（第７表－４）

市町村名			遠野市				計	平均		
総耕地面積(ha)			7,060				7,060			
区分 / 作物名			作付面積(ha)	単位面積当たり収量(kg/10a)	作付面積(ha)	単位面積当たり収量(kg/10a)	作付面積(ha)	単位面積当たり収量(kg/10a)	作付率(%)	備考
田	表作	水稲	1,710	546			1,710	546	42	
		豆類(大豆他)	194	142			194	142	5	
		麦類(小麦他)	6	110			6	110	0	
		その他	618	－			618	－	15	
	裏作									
	小計		2,528				2,528		62	
普通畑	春夏作	野菜類	126	－			126	－	3	
		雑穀	12	－			12	－	0	
		いも類	8	－			8	－	0	
		花き類・花木	4				4		0	
		その他	1,412				1,412		34	
	小計		1,562				1,562		37	
樹園地	果樹類		27	－			27	－	1	
	小計		27				27		1	
計			4,117				4,117		100	
市町村別延べ作付率(%)			58				58			

５．農業の動向

（2020農林業センサス）　　（第７表－５）

項目／区分	農家			土地			主要作物			主要家畜			動力農機具			その他	地域指定等	備考
		B (H27)	A (R2)		B (H27)	A (R2)	作物名	B (H27)	A (R2)	家畜名	B (H27)	A (R2)	農機具名	B (H27)	A (R2)			
変化の状況（C年を100とする指数）	総農家数	85	69	耕地	80	92	水稲	97	96	乳用牛	61	55	耕耘機 ﾄﾗｸﾀｰ	89	－		農振 S45	
	専業農家数	88	－	田	78	90	野菜類	80	67	肉用牛	81	58	動力田植機	81	－		過疎 H17	A:令和２年(2020)
	第1種兼業農家数	64	－	畑	69	65	麦類	x	21	豚	100	150	ｺﾝﾊﾞｲﾝ	92	－		特農 H５	
	第2種兼業農家数	77	－	樹園地	65	49	豆類	146	156	採卵鶏	71	29					豪雪 S38	B:平成27年(2015)
	農業従事者数	73	50				花類	69	31									
																		C:平成22年(2010)
変化の理由	総農家数、農業従事者は減少している。			農地転用が進み農用地の減少が進んでいる。			水稲は水田畑利用の推進により、減少している。			畜産農家が減少している。			農作業の省力化を図るため、大型ﾄﾗｸﾀｰ、ｺﾝﾊﾞｲﾝの導入が進み、機械台数が減少している。					

第６節　地域環境の概況

遠野市は岩手県の南東部、北上高地の中南部に位置しており、市域の中央に遠野盆地があり、中心市街地が形成されている。遠野盆地は早池峰山をはじめとした山々に囲まれており、北上高地の中で最大の広がりをもつ。盆地の中央部を貫流する猿ヶ石川は早瀬川、小友川、宮守川、達曽部川など大小多くの河川が合流し、これらの河川沿いを中心に耕地と集落が形成されている。国定公園早池峰山は国内でも珍しい草花が見られ、高山植物の宝庫として広く知られている。なお、本地域内には、「環境省レッドリスト」及び「いわてレッドデータブック」に登載されている希少種の生育・生息が確認されている。

第４章　一　般　計　画

第１節　事業計画の要旨

１．要　旨

本地区は、昭和26年に一部耕地整備されているものの、区画規模は10a程度と小区画かつその他の耕地は未整備である。農道の幅員もほとんどが2.0m～3.0m程度と狭小で大型機械の通行が困難であることから、効率的な営農の展開が不可能な状態となっている。また、地区内の小用排水路のほとんどが土水路となっており、維持管理に多大な労力を費やしている。

このため本事業では、34.7haの農用地に対し区画整理を行い標準区画0.5haのほ場を整備する。また、暗渠排水12.2haを併せて整備し乾田化を図る。さらに、地区内農道は、総延長5.2kmの支線道路を標準幅員４～３ｍの敷砂利舗装に、用水路は総延長7.5kmをパイプラインにて整備する。排水路は総延長5.0kmを鉄筋コンクリート二次製品にて整備する。

これらの整備により、営農及び維持管理等の省力化を図ると共に、担い手への農地集積を一体的に推進し農業経営の安定化を図るものである。

２．事業別面積

（第８表）

事業名	区画整理																		計	備　考
土地利用区分 / 事業目的	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	(ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	(ha)	小計 (ha)	(ha)	
区画整理	34.7	－	－	－	6.4	41.1													41.1	
計	34.7	－	－	－	6.4	41.1													41.1	

第２節　営農計画及び土地利用計画

１．営農計画の概要

農業経営の安定化を図るため、担い手に農地の利用集積・集約化を進め、主食用米を中心としつつ、土地利用型の転作作物を作付する。また、農家所得の向上に向け、園芸作物の作付拡大を図る。

２．土地利用区分

（第９表－１）

事業名	土地利用区分 / 区分	水　田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶　園 (ha)	その他 (ha)	小　計 (ha)	原　野 (ha)	山　林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
区画整理	現　況	36.0	2.0	－	－	－	－	38.0	0.1	－	3.0	41.1	
	計　画	34.7	－	－	－	－	－	34.7	－	－	6.4	41.1	
	現　況												
	計　画												
計	現　況	36.0	2.0	－	－	－	－	38.0	0.1	－	3.0	41.1	
	計　画	34.7	－	－	－	－	－	34.7	－	－	6.4	41.1	

３．作付方式

（第９表－２）

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1年目	2年目	3年目	4年目	備考
区画整理	現況	水稲＋飼料作物＋牧草	田	主食用米 飼料用米 牧草 自己保全管理	主食用米 飼料用米 牧草 自己保全管理	主食用米 飼料用米 牧草 自己保全管理	主食用米 飼料用米 牧草 自己保全管理	
		野菜	畑	自家消費野菜	自家消費野菜	自家消費野菜	自家消費野菜	
	計画	水稲＋飼料作物＋野菜＋花き	田	主食用米 飼料用米 ピーマン ねぎ たまねぎ にんにく トルコギキョウ アスター	主食用米 飼料用米 ピーマン ねぎ たまねぎ にんにく トルコギキョウ アスター	主食用米 飼料用米 ピーマン ねぎ たまねぎ にんにく トルコギキョウ アスター	主食用米 飼料用米 ピーマン ねぎ たまねぎ にんにく トルコギキョウ アスター	

４．生産計画

（現況本地率　水田:95.0%　畑:98.5%）
（計画本地率　水田:95.4%　）

（第９表－３）

事業名	項目／土地利用区分		作物名	作付面積 (ha) 現況	計画	増減	作付率 (%) 現況	計画	単位面積当たり収穫量(kg/10a) 現況	計画	増減	生産量 (t) 現況	計画	増減	同左生産量増減の内訳 (t) 面積増減	単位面積当たり収量増加	備考
区画整理	水田	表作	水稲(主食用)	13.8	10.8	△ 3.0	36.9	31.4	548	570	22	75.6	61.6	△ 14.0	△ 16.4	2.4	
			水稲(飼料用)	15.8	22.3	6.5	42.3	65.0	548	571	23	86.6	127.3	40.7	37.1	3.6	
			牧草(肉用)	1.2	－	△ 1.2	3.2	－	2,696	2,696		32.4		△ 32.4	△ 32.4		
			ピーマン	－	0.2	0.2		0.6	4,702	5,972	1,270		11.9	11.9	11.9		
			ねぎ	－	0.3	0.3		0.9	1,621	1,761	140		5.3	5.3	5.3		
			たまねぎ	－	0.3	0.3		0.9	2,078	2,190	112		6.6	6.6	6.6		
			にんにく	－	0.3	0.3		0.9	629	683	54		2.0	2.0	2.0		
			トルコギキョウ	－	0.1	0.1		0.3	10,450	10,450			10.5	10.5	10.5		単収：本/10a 生産量：千本
			自己保全管理	4.6	－	△ 4.6	12.3										
							－										
	小　計			35.4	34.3	△ 1.1	94.7	100.0									
	普通畑	春夏秋冬	自家消費野菜	2.0	－	△ 2.0	5.3				－	－				－	
				－	－		－				－	－				－	
	小　計			2.0	－	△ 2.0	5.3										
合　計				37.4	34.3	△ 3.1	100.0	100.0									

※作付面積は本地面積で整理
※作付面積は農業用用排水施設整備単独受益1.3haを含む。

５．労働改善計画

（計画本地率　水田:97.6%）　　（第９表－４）

事業名	項目／土地利用区分	作物名	作付面積(ha)	単位面積当たり労働投下量（hr/10a） 区分	現況	計画	増減	備考
区画整理	水田	水稲（個別→法人）	3.2	人力	48.4	8.2	△ 40.2	小区画 湿田 → 中区画 乾田(No.4)
				機械力	24.3	12.2	△ 12.1	
		水稲（担い手→法人）	6.4	人力	29.0	8.2	△ 20.8	小区画 湿田 → 中区画 乾田(No.4)
				機械力	17.3	12.2	△ 5.1	
		水稲（用水単独受益）	1.2	人力	48.4	48.4		小区画 湿田 → 小区画 湿田
				機械力	24.3	24.3		
		水稲(飼料用)（個別→法人）	6.6	人力	48.4	6.7	△ 41.7	小区画 湿田 → 中区画 乾田(No.7)
				機械力	24.3	6.7	△ 17.6	
		水稲(飼料用)（担い手→法人）	15.7	人力	29.0	6.7	△ 22.3	小区画 湿田 → 中区画 乾田(No.7)
				機械力	17.3	6.7	△ 10.6	
		ピーマン	0.2	人力	469.0	467.6	△ 1.4	小区画 湿田 → 中区画 乾田(No.37)
				機械力	15.2	14.8	△ 0.4	
		ねぎ	0.3	人力	340.8	301.4	△ 39.4	小区画 湿田 → 中区画 乾田(No.43)
				機械力	138.0	137.2	△ 0.8	
		たまねぎ	0.3	人力	52.5	50.4	△ 2.1	小区画 湿田 → 中区画 乾田(No.45)
				機械力	35.2	35.1	△ 0.1	
	計		33.9					
合計			33.9					

※用水単独受益は農業用用排水施設整備単独受益

6．　級地別土地利用区分

該当なし

（第９表-5）

区分 級地名 / 土地利用区分		農用地造成（ha）					干拓（ha）					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	（普通畑）											
	（牧草地）											
	樹園地											
	（果樹園）											
	（桑園）											
その他												
計												

7．　土地配分計画

該当なし

（第９表-6）

項目 区分	配分戸数（戸）	地目別配分計画（ha）								備考
		田	輪換耕地	畑					計	
				普通畑	牧草地	樹園地				
増反		（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	
入植		（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	

第３節　用水計画

１．計画基準年

昭和45年

（かんがい期間の有効雨量、連続干天日数、干天総日数とも1/10確率年に近い年を基準年とする。）

２．計画かんがい方式

水田(水稲)　湛水かんがい方式

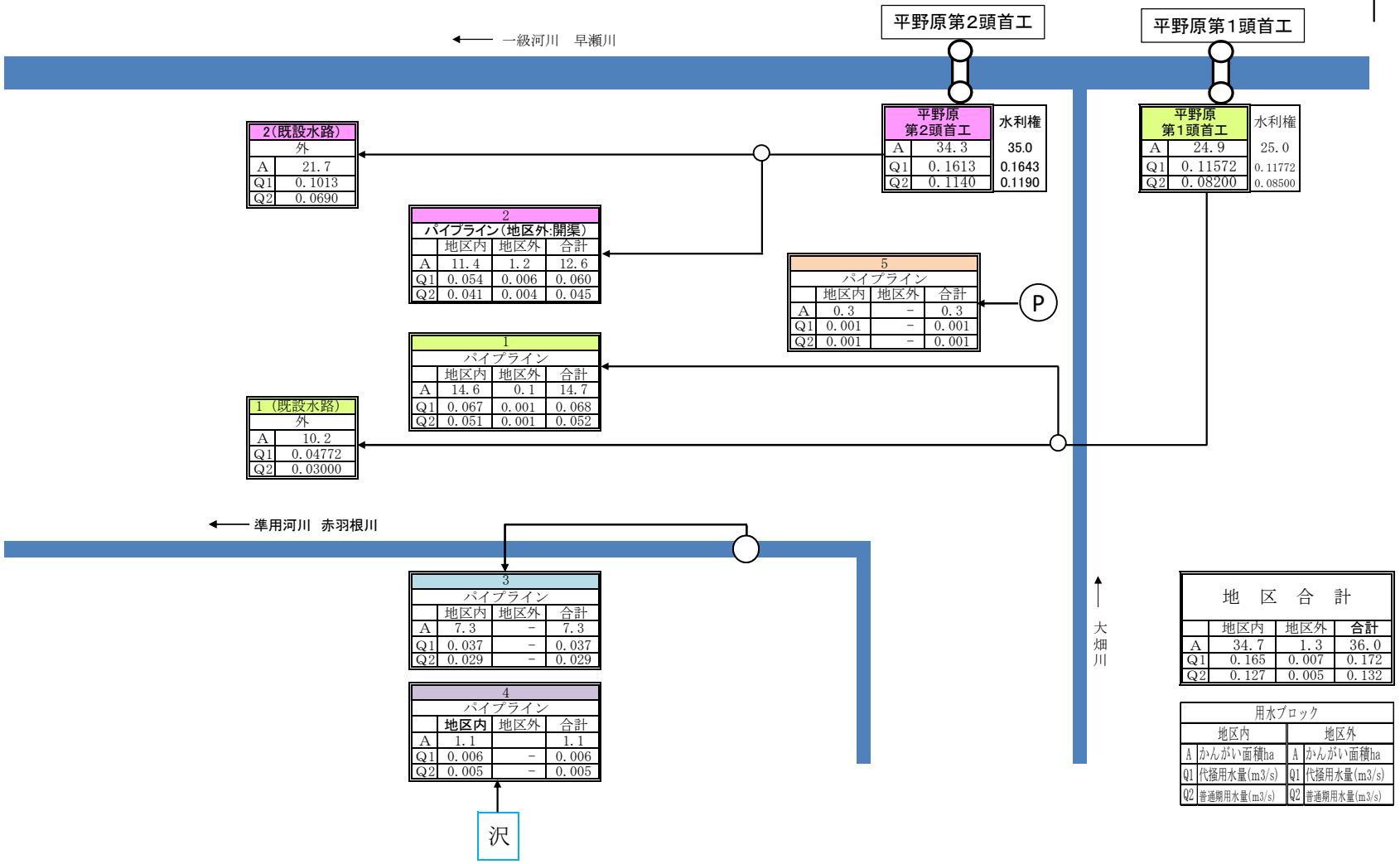
かんがい期間　５月10日～９月10日　124日間

（ 代掻き期間　５月10日～５月20日　11日間 ）

３．計画用水系統

次頁参照

平野原地区　計画用水系統図



地区合計	地区内	地区外	合計
A	34.7	1.3	36.0
Q1	0.165	0.007	0.172
Q2	0.127	0.005	0.132

用水ブロック			
地区内		地区外	
A	かんがい面積ha	A	かんがい面積ha
Q1	代掻用水量(m3/s)	Q1	代掻用水量(m3/s)
Q2	普通期用水量(m3/s)	Q2	普通期用水量(m3/s)

４．計画用水量

(1)　かんがい用水

（第１０表－１－１）

項目 / 系統名	種別	面積(ha) 事業名 区画整理	地区外	計	水田かんがい 普通期 計画平均単位用水量(mm/日)	代かき期 計画代かき単位用水量(mm)	面積(ha)	水田畑利用 平均一日当たり計画かん水深(mm/日)	平均間断日数(日)	面積(ha)	畑地かんがい 平均一日当たり計画かん水深(mm/日)	平均間断日数(日)	面積(ha)	その他 計画平均単位用水量(mm/日)	面積(ha)	消費水量(m3/s)	損失率(%)	粗用水量 平均(m3/s)	最大(m3/s)	備考
一級河川早瀬川	農業用水	14.6	0.1	14.7	27	147	14.7									0.061	10	0.052	0.068	平野原第１頭首工
一級河川早瀬川	農業用水	11.4	1.2	12.6	28	148	12.6									0.054	10	0.045	0.060	平野原第２頭首工
準用河川赤羽根川	農業用水	7.3	－	7.3	31	151	7.3									0.033	10	0.029	0.037	
沢水	農業用水	1.1	－	1.1	32	152	1.1									0.005	10	0.005	0.006	
地下水	農業用水	0.3	－	0.3	23	143	0.3									0.001	10	0.001	0.001	
計		34.7	1.3	36.0			36.0									0.154		0.132	0.172	

※地区外は農業用用排水施設整備単独受益

（２）　営 農 飲 雑 用 水

該当なし

（第１０表-1-2）

区分	利用目的	対象面積（ha）			日当たり給水量		補給回数	関係戸数	備考
		事業名			単位給水量	最大給水量			
				計	(ﾘｯﾄﾙ/日)	(ﾘｯﾄﾙ/日)	(回)	(戸)	

５．水源計画

(1)　水利用計画

有効雨量　　水田(水稲)：5㎜/日～80㎜/日の80％

(畑利用)：－

TRAM　　水田(畑利用)：－㎜

間断日数　　水田(畑利用)：－日

かんがい効率　　水田(水稲)：90％

水田(畑利用)：－％

（第１０表－２）

区分	項目	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考
						水源名	取水地点利用可能量	ほ場利用可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水量		
		a (千m³)	b (千m³)	c=a-b (千m³)	d=c/(1-α) (千m³)		e (千m³)	f (千m³)	g=c-f (千m³)	h=d-e (千m³)		(千m³)		損失率：α
区画整理	早瀬川	962		962	1,069	一級河川早瀬川	1,069	962					頭首工	0.10
	赤羽根川	286		286	318	準用河川赤羽根川	318	286						
	沢水	50		50	55	沢水	55	50						
	地下水	10		10	11	地下水	11	10						
	計	1,308		1,308	1,453		1,453	1,308						

（２）用水対策

（ア）　貯　水　池　　該当なし

（第１０表－３）

項目 / 貯水池名	流域面積（km²）		かんがい面積（ha）			純貯水量	有効貯水量	利用貯水量	利用回数	最大取水量	備考
	直接	間接	事業名		計	（千m³）	（千m³）	（千m³）	（回）	（m³／s）	

（イ）井堰及び自然取入口　該当なし

（第１０表－４）

項目 / 取水施設名	河川名	流域面積（km²）	かんがい面積（ha）			取水量（m³/s）		渇水量（m³/s）	備考
			事業名			最大	平均		
			区画整理	地区外	計				

（ウ）　揚　水　機　　該当なし

（第１０表－５）

項目 / 名称	水源名	かんがい面積（ha）			所要水量（m³/s）		揚水機				備考
		事業名					実揚程（m）	揚水量（m³/s）	台数（台）	全揚水量（m³/s）	
		区画整理		計	最大	平均					

（エ）用　水　路

（第１０表－６）

項目 / 名称	かんがい面積（ha） 事業名 区画整理	（地区外）	計	最大通水量（m^3/s）	延長（m）	構造	備考
用水路工	34.7	1.3	36.0	0.068	7,516	VU75～VU400	ﾊﾟｲﾌﾟﾗｲﾝ
計	34.7	1.3	36.0		7,516		

※地区外は農業用用排水施設整備単独受益

（オ）その他の水源施設　　該当なし

（３）　水質水温　　該当なし

第４節　排水計画

１．計画基準雨量

（岩手県農林水産部農村計画課　計画樹立参考資料　令和６年３月版　　遠野地域気象観測所）

最大２４時間雨量	127.8 mm （1／10年）	81.9 mm （1/2年）
最大　４時間雨量	68.5 mm （1／10年）	44.2 mm （1/2年）
最大　１時間雨量	34.6 mm （1／10年）	21.8 mm （1/2年）

２．計画排水方式

自然流下排水

３．計画排水系統

次頁参照

平　野　原　地　区　計　画　排　水　系　統　図

← 一級河川　早瀬川

早瀬川左岸①	地区内	地区外
CA	0.071	0.044
A	6.2	-
Q1/10	0.159	0.125
Q1/2	0.105	0.080
Q常時	0.019	0.012

早瀬川左岸②	地区内	地区外
CA	0.017	0.007
A	1.4	-
Q1/10	0.039	0.020
Q1/2	0.025	0.013
Q常時	0.005	0.002

早瀬川左岸③	地区内	地区外
CA	0.042	0.258
A	3.5	-
Q1/10	0.096	0.893
Q1/2	0.063	0.524
Q常時	0.013	0.067

赤羽根川右岸①	地区内	地区外
CA	0.002	0.017
A	0.2	-
Q1/10	0.004	0.037
Q1/2	0.003	0.024
Q常時	0.001	0.005

赤羽根川右岸②	地区内	地区外
CA	0.016	-
A	1.4	-
Q1/10	0.036	-
Q1/2	0.023	-
Q常時	0.004	-

赤羽根川右岸③	地区内	地区外
CA	0.071	0.006
A	5.9	-
Q1/10	0.164	0.018
Q1/2	0.105	0.011
Q常時	0.019	0.002

赤羽根川右岸④	地区内	地区外
CA	0.049	0.069
A	3.9	-
Q1/10	0.113	0.173
Q1/2	0.074	0.111
Q常時	0.013	0.017

赤羽根川右岸⑤	地区内	地区外
CA	0.041	0.008
A	3.5	-
Q1/10	0.094	0.020
Q1/2	0.060	0.013
Q常時	0.010	0.002

← 準用河川　赤羽根川

赤羽根川左岸①	地区内	地区外
CA	0.005	-
A	0.3	-
Q1/10	0.013	-
Q1/2	0.008	-
Q常時	0.001	-

赤羽根川左岸②	地区内	地区外
CA	0.051	0.064
A	4.5	-
Q1/10	0.115	0.245
Q1/2	0.074	0.140
Q常時	0.013	0.016

赤羽根川左岸③	地区内	地区外
CA	0.027	0.567
A	2.3	-
Q1/10	0.062	1.806
Q1/2	0.040	1.021
Q常時	0.007	0.142

赤羽根川左岸④	地区内	地区外
CA	0.013	0.044
A	1.1	-
Q1/10	0.030	0.191
Q1/2	0.019	0.110
Q常時	0.003	0.011

赤羽根川左岸⑤	地区内	地区外
CA	0.006	0.045
A	0.5	-
Q1/10	0.014	0.189
Q1/2	0.009	0.108
Q常時	0.002	0.011

早瀬川左岸計	地区内	地区外
CA	0.130	0.309
A	11.1	-
Q1/10	0.294	1.038
Q1/2	0.193	0.617
Q常時	0.037	0.081

赤羽根川右岸計	地区内	地区外
CA	0.179	0.100
A	14.9	-
Q1/10	0.411	0.248
Q1/2	0.265	0.159
Q常時	0.047	0.026

赤羽根川左岸計	地区内	地区外
CA	0.102	0.720
A	8.7	-
Q1/10	0.234	2.431
Q1/2	0.150	1.379
Q常時	0.026	0.180

平野原地区	地区内	地区外	合計
CA	0.411	1.129	1.540
A	34.7	-	34.7
Q1/10	0.939	3.717	4.656
Q1/2	0.608	2.155	2.763
Q常時	0.110	0.287	0.397

流域番号	
CA	流域面積（km2）
A	受益面積（ha）
Q1/10	10年確率排水量（m3/s）
Q1/2	2年確率排水量（m3/s）
常時	常時排水量（m3/s）

４．計画排水量

（第１1表－1）

項目 / 排水系統名	受益面積（ha） 事業名 区画整理		計	流域面積（km²） 山地	平地	基準雨量（mm）	降雨による直接単位流出量（m³/s/km²） 山地	平地	基底流出量（m³/s/km²） 山地	平地	全排水量（m³/s） 山地	平地 自然排水	機械排水	単位排水量（m³/s/km²） 山地	平地	備考
一級河川早瀬川	11.1		11.1	0.153	0.286	68.5mm/4hr	1/10確率 4.008	1/10確率 1.427～3.092	－	0.25	0.613	0.719	－	1/10確率 4.008	1/10確率 1.427～3.092	
準用河川赤羽根川	23.6		23.6	0.641	0.460	68.5mm/4hr	1/10確率 3.204～5.330	1/10確率 1.427～3.092	－	0.25	2.243	1.081	－	1/10確率 3.204～5.330	1/10確率 1.427～3.092	
計	34.7		34.7	0.794	0.746						2.856	1.800	－			

５．排水対策

（１）排水水門　該当なし

（第１１表-2）

項目 / 名称	流域面積 (km²)	受益面積(ha) 事業名			計画		排水本川			備考
				計	排水量 (m³/s)	地区内たん水深 (m)	名称	計画洪水量 (m³/s)	計画洪水位 (m)	

（２）排水機　　該当なし

（第１１表-3）

項目 / 名称	流域面積 (km²)	受益面積(ha) 事業名			計画		排水機				備考
				計	排水量 (m³/s)	地区内たん水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m³/s)	台数 (台)	全排水量 (m3/s)	

(3)　排水路

（第１１表－４）

項目 / 名称	流域面積 (km^2)	受益面積 (ha) 事業名 区画整理		計	計画排水量 (m^3/s)	延長 (m)	構造	排水本川 名称	計画洪水量 (m^3/s)	計画洪水位 (m)	備考
小排水路	1.54	34.7		34.7	4.656	4,963	HF300×300～HF500×500	早瀬川 赤羽根川	－	－	
計	1.54	34.7		34.7	4.656	4,963					

(4)　その他　　該当なし

６．湛水検討　　該当なし

第５節　道路計画

１．道路及び索道

（１）道路

（第１２表－１）

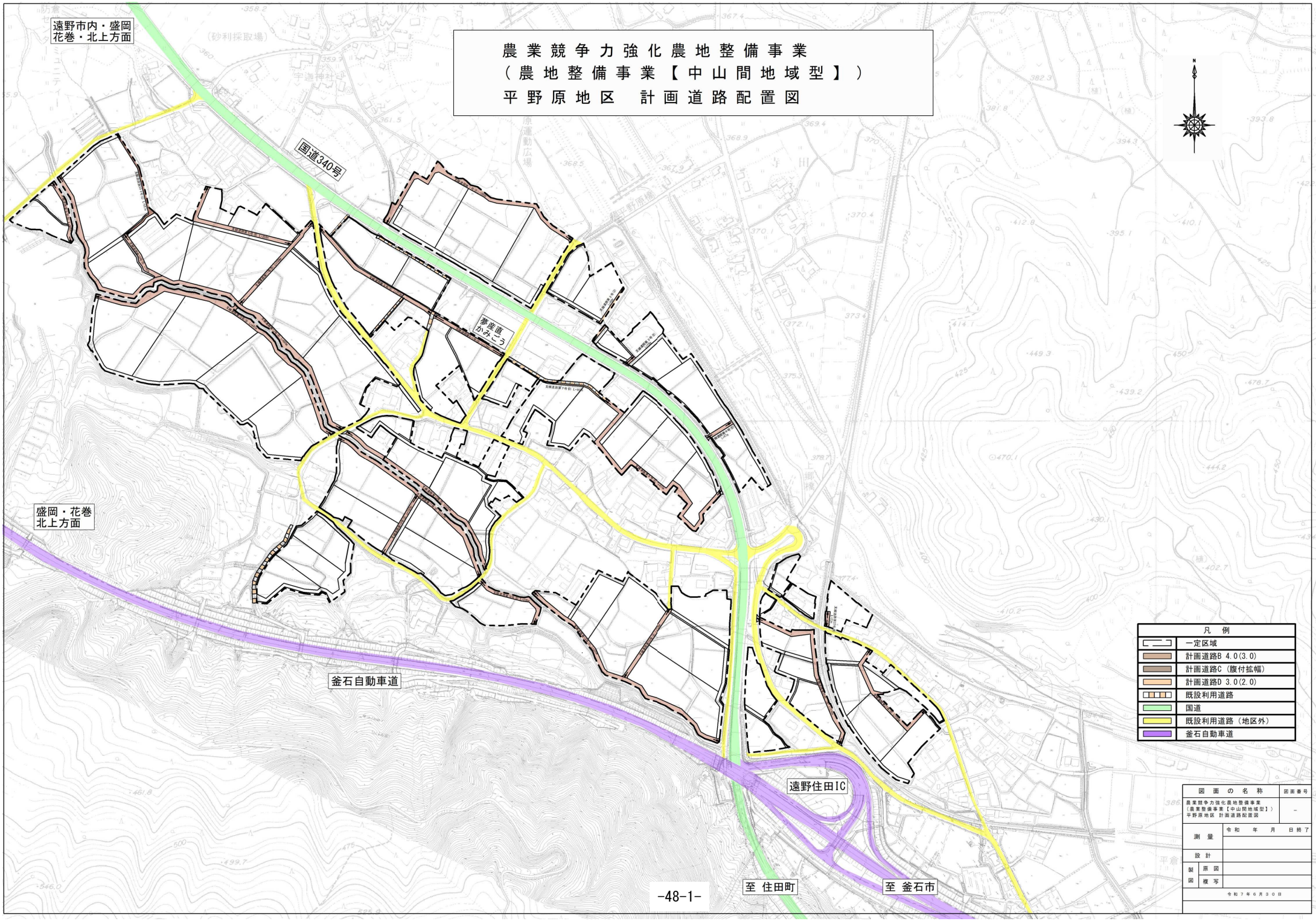
項　目 路線名	幅(有効)×延長 (m)　　(m)	構　　造	既設道路との関係	備　　考
支線道路(B)	4.0(3.0)×4,751	敷砂利工（ｔ＝0.10m）	国道、市道取付あり	
支線道路(C)	3.0(2.0)×　187	敷砂利工（ｔ＝0.10m）	市道取付あり	
支線道路(D)	4.0(3.0)×263	敷砂利工（ｔ＝0.10m）	市道取付あり	拡幅道路
計	5,201			

（２）索道　　該当なし

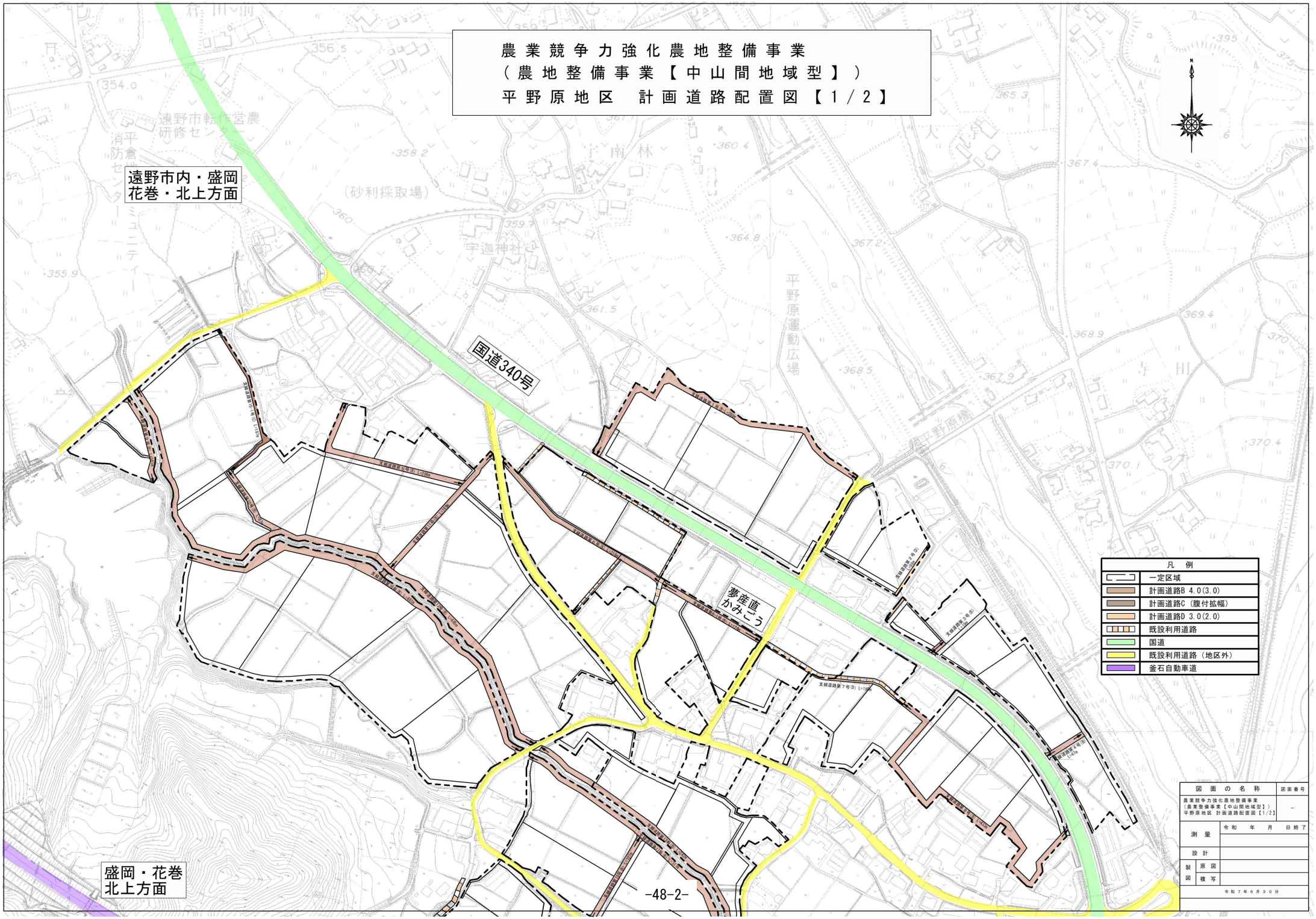
２．路線配置図

別紙のとおり

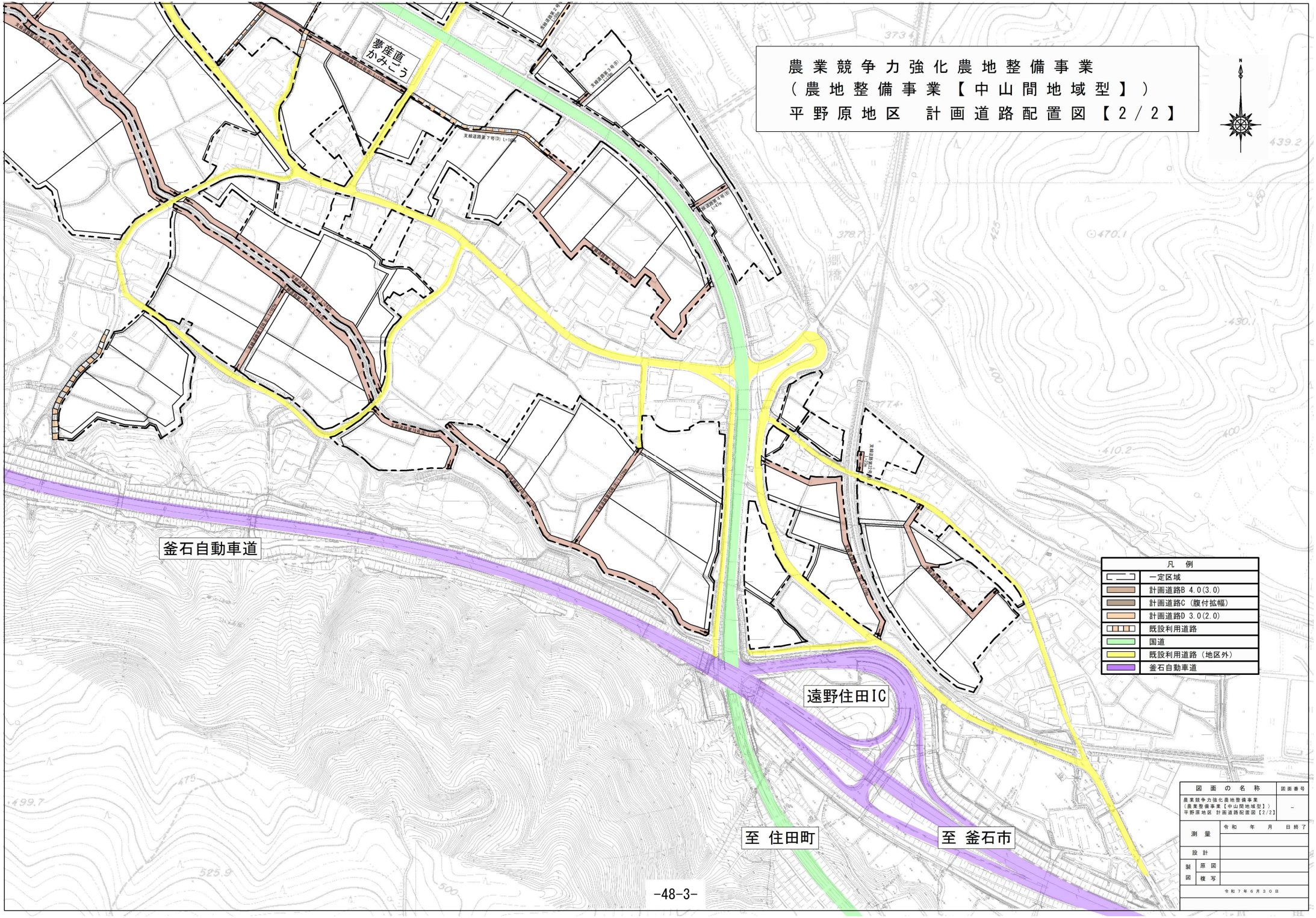
農業競争力強化農地整備事業
（農地整備事業【中山間地域型】）
平野原地区　計画道路配置図



農業競争力強化農地整備事業
（農地整備事業【中山間地域型】）
平野原地区　計画道路配置図【1／2】



図面の名称		図面番号
農業競争力強化農地整備事業 （農業整備事業【中山間地域型】） 平野原地区 計画道路配置図【1/2】		－
測量	令和　年　月　日終了	
設計		
製図	原図	
	複写	
令和７年６月３０日		


農業競争力強化農地整備事業
（農地整備事業【中山間地域型】）
平野原地区　計画道路配置図【2／2】
夢産直
かみこう
釜石自動車道
遠野住田IC
至 住田町
至 釜石市
凡　例
一定区域
計画道路B 4.0(3.0)
計画道路C（腹付拡幅）
計画道路D 3.0(2.0)
既設利用道路
国道
既設利用道路（地区外）
釜石自動車道
図面の名称
図面番号
農業競争力強化農地整備事業
（農業整備事業【中山間地域型】）
平野原地区 計画道路配置図【2/2】
測量
令和　年　月　日終了
設計
製図
原図
複写
令和７年６月３０日

第６節　農用地造成計画

１．農用地造成計画

(1)農地造成計画

該当なし

（第１３表-1）

項目 地区名	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備　　考

(2)末端道排水路配置計画　　該当なし

２．土壌改良

該当なし

（第１３表-2）

項目 区分	面　積 (ha)	土壌統 (区)名	ＰＨ		置換酸度 (Y_1)	りん酸吸収係数 (mg/100g)	ha当たり所要量（t/ha）			備　　考
			H_2O	KGl			石炭	りん酸質資材	有機質資材	

第７節　洪水調節計画

１．計画基準雨量　　該当なし

２．計画洪水量及び調節量

該当なし　　（第１４表-1）

地　　点	流域面積 (km²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m³/s)	安全洪水量 (m³/s)	必要調節量 (m³/s)	ピーク時 調 節 量 (m³/s)	調 節 後 最大流量 (m³/s)	調節前後の 最大流量の差 (m³/s)	最大調節量 (m³/s)

３．貯水池

該当なし　　（第１４表-2）

項目 / 貯水地名	流域面積(km²)		計画洪水量 (m³/s)	貯水量（千m³）			計画調節流量 (m³/s)	可能調節流量 (m³/s)	備　　考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			

４．洪水調節検討

（１）河川改修計画との関係　　該当なし

（２）洪水調節が下流に及ぼす影響　　該当なし

（３）計画基準雨量以外についての検討　　該当なし

５．管理計画

（１）管理機構　　該当なし

（２）ダム管理操作上の各種基準　　該当なし

（３）洪水調節要領　　該当なし

第８節　干拓計画

該当なし

（第１５表）

項目 名称	延長 （m）	計画高潮(水)位 （ＩＰm）	風向及び対岸距離 (km)	風　速 (m/s)	気　圧 (mb)	備　　考

第９節　農用地整備計画

１．区画整理

(1)　区画の形状

（第１６表－１）

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割　　合 (%)	田　面　差 (m)	備　　考
125　×　80	1.0	9.8	28	1.2	
100　×　50	0.5	12.2	36	0.7	
100　×　30	0.3	7.8	22	0.4	
その他	－	4.9	14	-	
計		34.7			

(2)　表土扱い

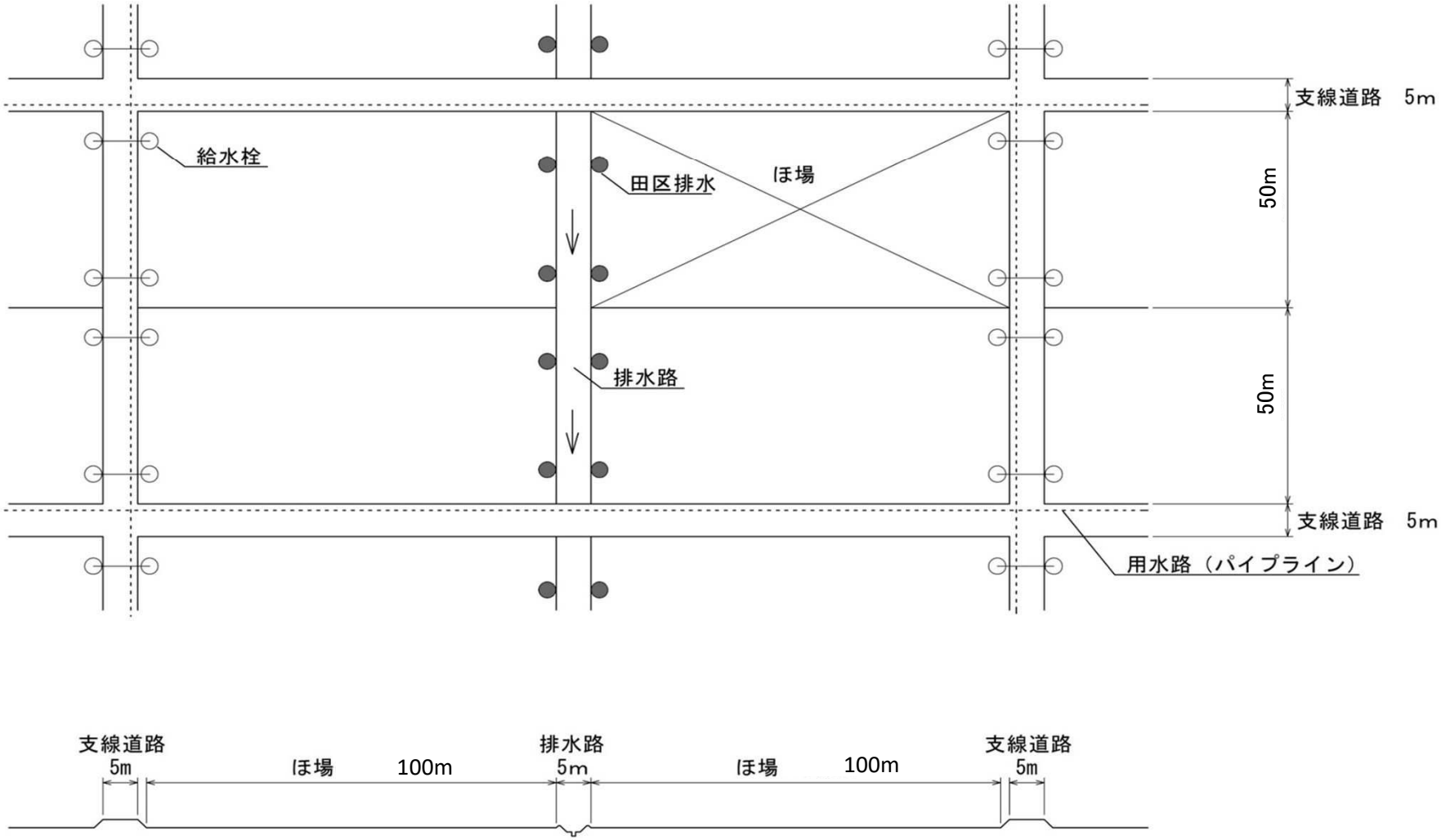
（第１６表－２）

面　　積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土　　量 (m3)	備　　考
34.7	地力の保持	15	52,050	

(3)　末端道水路配置図

別紙のとおり

末端道水路配置図


支線道路　5m
給水栓
田区排水
ほ場
50m
排水路
50m
支線道路　5m
用水路（パイプライン）
支線道路
5m
ほ場
100m
排水路
5m
ほ場
100m
支線道路
5m

２．暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

項目 区分	面積 (ha) 事業名 区画整理		計	土壌統（区）名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (L/s/ha)	計画後の地下水位 (m)	集水渠出口以下の排水方法	備　考
暗渠排水	12.2		12.2	礫質土壌壌土マンガン（下部礫質）型	50	5.79	0.4	自然排水	K95
計	12.2		12.2						

(2) 心土破砕　　該当なし

(第16表-3-2)

項目 区分	面積 (ha) 事業名			土壌統（区）名	土壌硬度 (mm/日)	備　考
計						

３．客土　　該当なし

（第１６表-4）

項目 区分	面　積　(ha) 事　業　名			土壌統 （区）名	減水深(mm/日)		作土の厚さ(cm)		10a当たり 客土量 (m³)	土壌の性質		備　考
			計		現況平均	計画平均	現況平均	計画平均		受益地 (%)	採土地 (客土材料) (%)	
計												

４．農地保全

（１）防災林　該当なし

（第16表-5-1）

項目 区分	最大風速 （m/ｓ）	幅 （m）	間　隔 （m）	備　　考

（２）排水工　該当なし

（第16表-5-2）

項目 区分	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量 単位排水量 (m³/s/ha)	排水量 全排水量 (m³/s)	備　　考

（３）侵食（崩壊）防止工

該当なし

（第16表-5-3）

項目 区分	位　　置	支配面積（ha）	機　　能	備　　考
計				

第１０節　老朽ため池改修計画

１．洪水吐改修計画　　該当なし

（１）計画基準雨量　　該当なし

（２）計画洪水量　　該当なし

２．堤体補強計画　　該当なし

３．取水施設改修計画　　該当なし

第　5　章　　主 要 工 事 計 画

第１節　用水施設

１．貯水池　該当なし

（第１７表-1）

<table>
<tr><td>名　称</td><td colspan="3"></td><td>位　置</td><td colspan="6"></td><td rowspan="3">備　　考</td></tr>
<tr><td rowspan="3">堤　　体</td><td rowspan="2">形　式</td><td colspan="2">流域面積(km²)</td><td rowspan="2">堤　高
(m)</td><td rowspan="2">堤 長
(m)</td><td rowspan="2">堤 体 質
(千m³)</td><td rowspan="2">基盤地盤地質</td><td colspan="2">貯　水　量　(千m³)</td></tr>
<tr><td>直　　接</td><td>間　　接</td><td>総 貯 水 量</td><td>有効貯水量</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">洪 水 吐</td><td>形　式</td><td>排 水 量
(m³/s)</td><td>備　考</td><td rowspan="2">取水施設</td><td>形　式</td><td>取水量
(m³/s)</td><td rowspan="2">放流施設</td><td>形　式</td><td>放 流 量
(m³/s)</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

２．頭首工　該当なし

（第１７表-2）

名　　称				位　　置				備　　考
形　式	堤　高 （m）	堤　　長（m）			取　水　位 （m）	取　水　量 （m³/s）	付帯施設	
		固定部	可動部	計				

３．揚水機　該当なし

（第17表-3）

項目 名称	位　　置	揚 水 量 （m³/s）	揚　　程(m)		揚　　水　　機			原　　動　　機			備　考
			実揚程 （ｍ）	全揚程 （ｍ）	形　式	口 径 (mm)	台 数 (台)	形　式	動　力	台　数 (台)	

４．用　水　路

（第１７表－４）

項目 / 水路名	かんがい面積（ha） 事業名 区画整理	地区外	計	通水量 (m^3/s)	延長（m） 開渠	トンネルその他	計	構造	勾配	主要構造物	備考
用水路工	34.7	1.3	36.0	0.068		7,516	7,516	VU75～VU400		取水工	ﾊﾟｲﾌﾟﾗｲﾝ
計	34.7	1.3	36.0			7,516	7,516				

※地区外は農業用用排水施設整備単独受益

５．その他かんがい施設

該当なし

（第１７表-5）

項目 / 水路名	構造	規模	数量	備考

第２節　排水施設

１．　排 水 水 門　　該当なし

（第１８表-1）

項目 名称	位　置	形　　式	構　　造	内 水 位 （m）	外 水 位 （m）	排 水 量 （㎥/s）	備　　考
計							

２．排　水　機　　該当なし

（第１８表-2）

項目 名称	位　置	排　水　量 （㎥/s）	揚　　程		排　　水　　機			原　　動　　機			備　考
			実 揚 程 （m）	全 揚 程 （m）	形　式	口　径 （m）	台　数 （台）	形　式	動　力	台　数 （台）	
計											

３．排　水　路

（第１８表－３）

項　目 水路名	受益面積（ha） 事業名 区画整理		計	排水量 (m^3/s)	延長（km） 開水路	トンネル その他	計	構　造	勾　配	主要構造物	備　考
小排水路	34.7		34.7	0.001～0.397	4.676	0.287	4.963	HF300×300～ HF500×500	1/150～ 1/500	放流工 横断暗渠工	
計	34.7		34.7		4.676	0.287	4.963				

４．その他排水施設　該当なし

第３節　道路及び索道

１．道　　路

(1)　道路の総括表

（第１９表－１）

項目 / 区分	路線名	幅（有効）×延長 (m)　(km)	構造	付帯構造物 名称	付帯構造物 構造	付帯構造物 数量 (箇所)	最急勾配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線半径 (m)	備考
支線道路(B)	－	4.0(3.0)×4.751	砂利道	国道、市道取付	As舗装	26		150		
支線道路(C)	－	3.0(2.0)×0.187	砂利道	市道取付	As舗装	1		5		
支線道路(D)	－	4.0(3.0)×0.263	砂利道	市道取付	As舗装	2		15		拡幅
計		5.201				29		170		

(2)　道路主要構造物　　該当なし

項目 / 路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備　考

２．索　　道　　該当なし

第４節　農用地造成

１．農用地造成

該当なし

（１）抜　根

該当なし

（第２０表-1）

項目 区分	樹　　種	樹　　径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面　　積 (ha)	工　　法	備　　考
計						

（２）除　礫

該当なし

（第２０表-2）

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除去礫 (m^3/ha)	面　　積 (ha)	工　　法	備　　考
計					

（３） 開墾作業

該当なし

（第２０表-3）

区分＼項目		面　積 (ha)	工　法	備　考
地　目	造成方法			
計				

（４） 開墾作業　　該当なし　（第２０表-4）
（５） 開墾作業　　該当なし　（第２０表-5）
（６） 開墾作業　　該当なし　（第２０表-6）

２． 土壌改良

該当なし

（第２０表-7）

区分＼項目	面　積 (ha)	面　積 (ha)	面　積 (ha)	面　積 (ha)	備　考
計					

第５節　洪水調節施設

１．　貯　水　池　　該当なし

２．　頭首工及び導水路　　該当なし

（１）　頭首工　　該当なし

（第２１表-2）

名　称			位　置					備　考
			堤　長　(m)			計画洪水位 (m)	付帯施設	
形　式	集水面積 (km^2)	堤　高 (m)	固定部	可動部	計			

（２）　導水路　　該当なし

（第２１表-3）

項目 / 水　路	通　水　量 (m^3/s)	延　長　(m)			構　造	勾　配	備　考
		総延長	トンネル	その他			

第６節　干拓施設

１．堤防　　該当なし

（第２２表-1）

項目 / 名　称	面　積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m)	施工方法	備　考

２．潮止め　　該当なし

（第２２表-2）

項目 / 名　称	工　法	幅　見 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備　考

３．付属施設　　該当なし

４．埋立　　該当なし

（第２２表-3）

項目 / 名　称	面　積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m)	施工方法 (m)	備　考

第７節　農用地整備施設

１．区画整理

（１）区画整理　　（第２３表-1）

工区名	面積（ha）	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量（m^3）	面積（ha）	土量（m^3）	
平野原	9.8	125 × 80	－	9.8	14,700	田　t=15cm
	12.2	100 × 50	－	12.2	18,300	〃
	7.8	100 × 30	－	7.8	11,700	〃
	4.9	その他	－	4.9	7,350	〃
計	34.7			34.7	52,050	

（２）末端用水路等　　（第２３表-2）

区分＼項目	数量	規模	構造	備考
計				

（３）末端排水路等　　（第２３表-3）

区分＼項目	数量	規模	構造	備考
計				

２．暗渠排水

（１）暗渠排水　　（第２３表-4-1）

項目／区分	面積（ha）			集水渠				吸水渠						集水渠出口以下の排水施設			備考
	事業名																
	区画整理		計	勾配	管種	管径（mm）	延長（m/ha）	勾配	管種	管径（mm）	深さ（m）	間隔（m）	延長（m/ha）	名称	構造	数量（m/ha）	
自動埋設型暗渠工	12.2		12.2	ﾚﾍﾞﾙ	ポリ管	φ50～60	36	水頭差	ポリ管	φ50～60	0.6	10.0	934	小排水路	HF	143	
計																	

（２）心土破砕　該当なし　　（第２３表-4-2）

項目／区分	対象土層の厚さ（cm）	ha当たり標準除礫量（m^3/ha）	面積（ha）	工法	備考
計					

３．客土　該当なし　　（第２３表-5）

項目／区分	面積（ha）			客入土量（m^3）	土取場土量（m^3）	運搬距離（km）	運搬方法	備考
	事業名							
			計					
計								

４．除礫　該当なし　　（第２３表-6）

項目／区分	対象土層の厚さ（cm）	ha当たり標準除礫量（m^3/ha）	面積（ha）	工法	備考
計					

５．農地保全　　該当なし

（１）　防災林　該当なし

（第２３表-4）

項目 区分	幅 （m）	延　長 （m）	面　積 （ha）	樹　種	植 栽 本 数 （本）	備　　考
計						

（２）　排水路　該当なし

（第２３表-5）

項目 区分	延　長 （m）	流　量 （m）	構　　造	備　　考
計				

（３）　侵食防止工　該当なし

（第２３表-6）

項目 名称	構　　造	数　　量	備　　考
計			

第８節　老朽ため池改修施設

１．貯水池　　該当なし

（第２４表）

<table>
<tr><td>名　称</td><td colspan="4"></td><td>位　置</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">堤　体</td><td>形　式</td><td>流　域
(㎢)</td><td>堤　高
(m)</td><td>堤　長
(m)</td><td>堤体積
(m^3)</td><td>堤頂幅
(m)</td><td>貯水量
(千m^3)</td><td>備　　考</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">洪水吐</td><td>形　式</td><td>洪水量
(m^3/s)</td><td>規　模
(m)</td><td>備　考</td><td rowspan="2">取水施設</td><td>形　式</td><td>取水量
(m^3/s)</td><td>備　　考</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

２．堤体補強施設

該当なし

（１）のり面保護施設

該当なし

（２）漏水防止工

該当なし

第６章　　付　帯　工　事　計　画

該当なし

第７章　　工事の着手及び完了の予定時期

着　手	令和	8	年度
完　了	令和	15	年度

第８章　　環境との調和への配慮

本地区は田園環境整備マスタープランにおいて「環境配慮区域」とされており、地域で生育・生息が確認されている動植物の生息環境への負荷の低減に努め、現況保全すること等により、環境の改変を最小限にするよう努めることとしている。

環境との調和への配慮として、地区内で生息が確認された保全対象種については、有識者委員の指導・助言を得ながら、工事施工前に地区と隣接した生息環境が類似している箇所を利用し移殖・移動する。また、景観を阻害しないように現地形に沿った区画設計とし、農村景観への影響を最小限にする。

第９章　換　地　計　画　の　概　要

第１節　換地計画を作成する上での基本的な考え方

本地区は、地区内面積41.1haの水田地域で、農地は一部10ａ区画に整理されているが不整形の耕地が大半である。今後の農業経営を考えて、本事業により生産基盤を整備し、農業機械の作業効率化、営農労力の節減を図り、生産性の向上を得るために、農地を担い手中心に営農グループ別に集団化するように換地計画を樹立する。

第２節　換地区の設定

１．換地区の名称、所在、面積

（第２５表－１）

換　地　区　名	換　地　区　の　所　在	面　積（ha）
平野原	岩手県　遠野市上郷町平野原・平倉　地内	41.1
計		41.1

２．換地区を設定する理由

計画地区の地形条件はおおむね同様であるので、換地工区を１区設定する

第３節　換地計画樹立の基本方針

１．従前の土地の地積の基準

（第２５表－２）

換地区名	地　積　の　基　準
平野原	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。 但し、上記の日から２ヶ月以内に測量士等の資格者が測量した実測図に、隣接所有者の承諾書を添付して申出があった場合は、その申出の地積とする。

２．用途別予定地積

（単位：ha）（第２５表－３）

換地区名	用途（取得予定者）／前後	非農用地区域外に換地する土地													非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一般国公有地	総合計
		田	畑	山林・原野	その他	通常事業施工地域に含める土地（令第１条９（ ）書き			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			創設農用地	合計	特定用途用地			異種目換地	創設非農用地					合計	国	県	市町村他	合計		
						土地改良施設	その他	小計		改良区	その他	小計			宅地	その他	計		農業経営合理化施設用地	生活上経営上必要な施設用地	公用・公共用施設用地	宅地等	計								
平野原	従前の土地	36.0	2.0	0.1	0.1	－	－	－	38.2	－	－	－	－	38.2	－	－	－	－						－	－	－	2.8	2.8	0.1	41.1
	換地	34.7	－	－	－	－	－	－	34.7	0.4	－	0.4	－	35.1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6.0	6.0	－	41.1
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
合計	従前の土地	36.0	2.0	0.1	0.1	－	－	－	38.2	－	－	－	－	38.2	－	－	－	－						－	－	－	2.8	2.8	0.1	41.1
	換地	34.7	－	－	－	－	－	－	34.7	0.4	－	0.4	－	35.1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6.0	6.0	－	41.1

３．農用地集団化の方針

（第２５表－４）

区　分 換地区名	地帯別、グループ別団地の設定	個　人　別　換　地　の　方　法		
		位置の選択方法	１戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
平野原	営農グループ別集団化	予め特殊地の選定を行った後、各人の従前の土地が最も密集した位置を基本とするが、育成すべき担い手の経営農用地を中心として農用地の集約が図られるように配慮する。	1～2団地	固定畦畔

４．非農用地換地の方法　該当なし

（第２５表－５）

区　分 地区名	用　途	非農用地区域の位置の概略	面　積(m^2)	換地の手法	換地取得予定者	そ　の　他

第４節　土地の評価及び清算の方法

１．評価の方法

標準地比準方式

従前の土地の中から標準地（利用条件、自然条件ともに最良地）を選定し、標準地の土地価格１点１㎡当りの単価を定め、標準地と比較しながら各々の土地を増減点評価する。

２．清算の方法

比例地積清算方式

事業による利益（増価額）を従前の土地の地積に比例して配分する方法

第５節　換地計画樹立の年度計画

（第２５表－６）

区分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考
平野原	令和12～15年度	令和15年度	令和15年度	確定測量　令和13年度

第６節　換地処分の時期に関する特則

換地区全部について区画整理工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項で準用する同法第54条第2項本文の規定に関わらず、換地処分を行うことができる。

第１０章　　事業費の総額及び内訳

単位：千円

事業区分	事　業　費		資　金　計　画			
			国　費	県　費	市町村費	受益者負担
区画整理	純　工　事　費	1,060,000	583,000 (55%)	318,000 (30%)	106,000 (10%)	53,000 (5%)
	測　量　試　験　費	132,000	72,600 (55%)	39,600 (30%)	13,200 (10%)	6,600 (5%)
	用地買収補償費	100,000	55,000 (55%)	30,000 (30%)	10,000 (10%)	5,000 (5%)
	換　地　費	98,000	53,900 (55%)	29,400 (30%)	9,800 (10%)	4,900 (5%)
	工　事　雑　費					
	計	1,390,000	764,500	417,000	139,000	69,500
	事　務　費					
	総　事　業　費	1,390,000	764,500	417,000	139,000	69,500

第１１章　効　　用

単位：千円

事業区分	項目 / 区分	年総効果(便益)額	年増加農業所得額	備考
区画整理	作物生産効果	11,613	2,544	
	営農経費節減効果	67,719	71,533	
	維持管理費節減効果	△ 106	629	
	耕作放棄防止効果	189	－	
	国産農作物安定供給効果	2,472	－	
	地籍確定効果	137	－	
	計	82,024	74,706	総費用総便益比　1.23

第１２章　関 連 す る 事 業

（第２８表）

区　分	事　業　名	事 業 主 体	受 益 面 積 (ha)	事 業 内 容
異種				

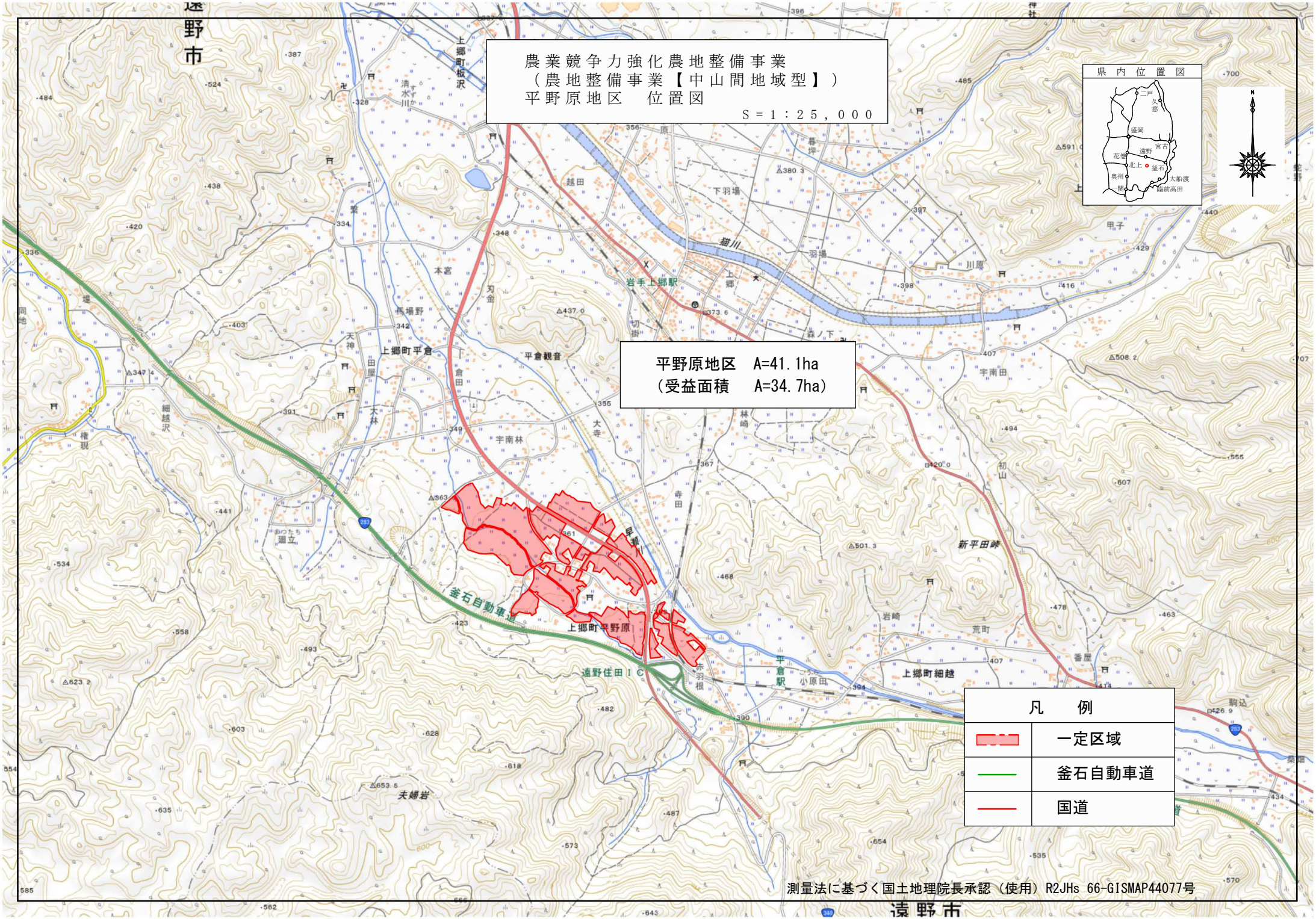
第１３章　　現 況・計 画 図 面

１．位　　置　　図　　別途添付

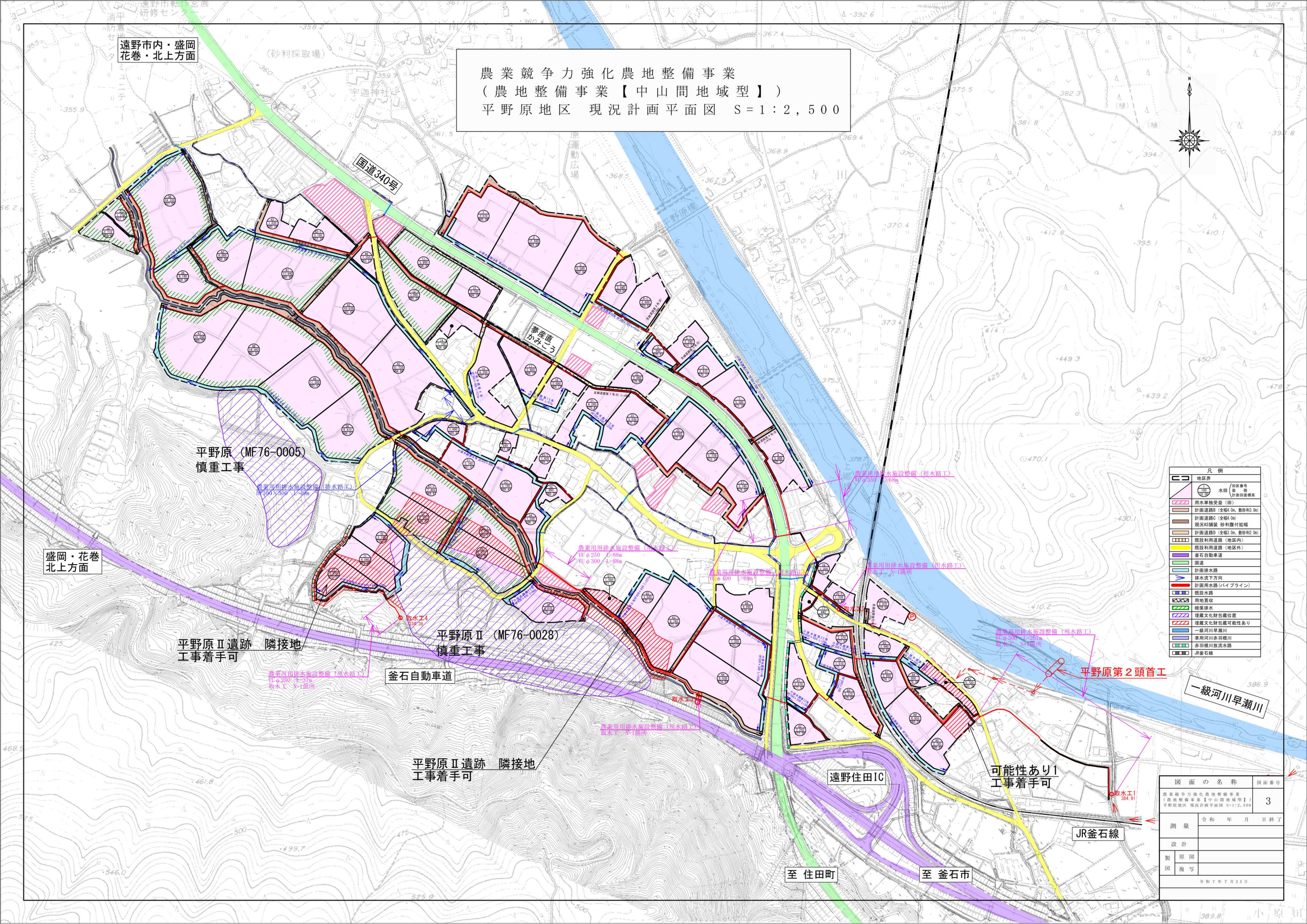
２．現　況　計　画　平　面　図　　別途添付

３．土　地　利　用　計　画　図　　別途添付

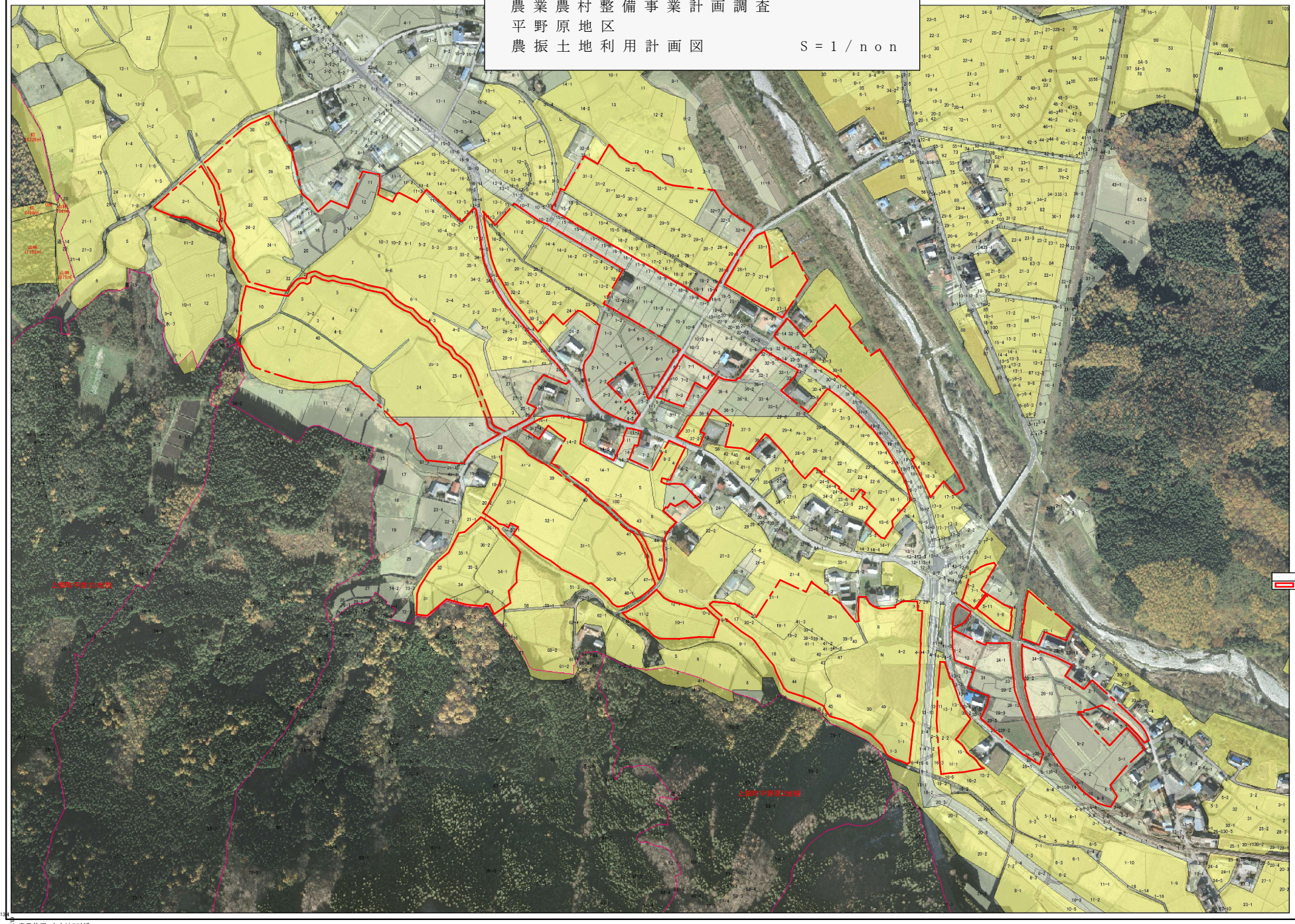
４．主　要　構　造　図　　別途添付


農業競争力強化農地整備事業
（農地整備事業【中山間地域型】）
平野原地区　位置図
S＝1：25，000
平野原地区　A=41.1ha
（受益面積　A=34.7ha）
県内位置図
凡　例
一定区域
釜石自動車道
国道
遠野市
上郷町平野原
釜石自動車道
遠野住田ＩＣ
岩手上郷駅
平倉駅
上郷町細越
新平田峠
猫川
早瀬川
夫婦岩
測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R2JHs 66-GISMAP44077号

農業競争力強化農地整備事業
（農地整備事業【中山間地域型】）
平野原地区　現況計画平面図　S＝1：2，500



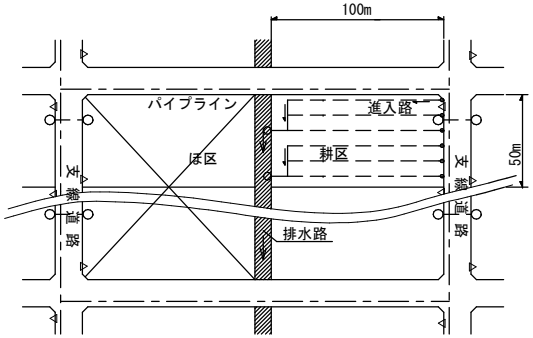
農業農村整備事業計画調査
平野原地区
農振土地利用計画図　　S＝1／non



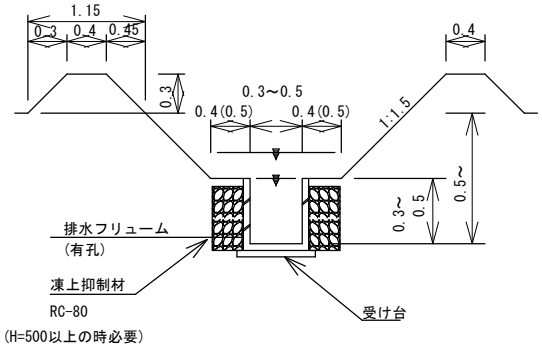
表示位置：中心は()付近。

主要構造図

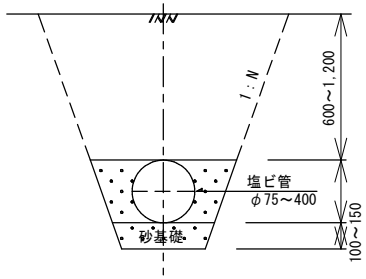
標準区画割図



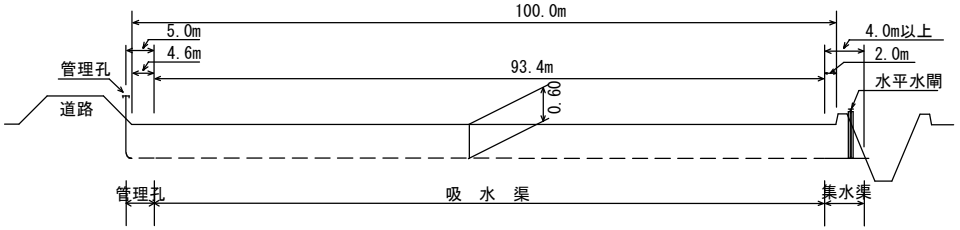
小排水路



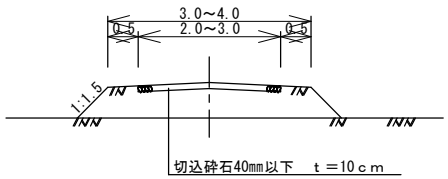
用水路（パイプライン）



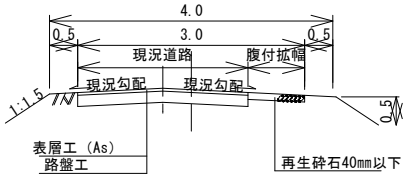
暗渠排水



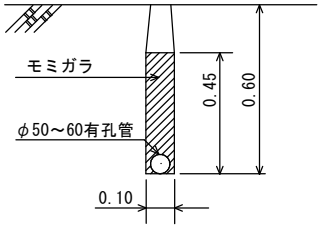
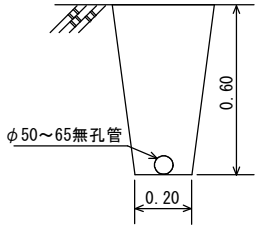
支線道路Ｂ，Ｄ



支線道路工Ｃ（腹付拡幅）



暗渠排水吸水渠



集水渠断面図